

**2019年度**

# **大学教育の達成度調査報告書**

2020年11月

教育運営委員会 学部・大学院教育部会

大学教育の達成度調査WG

## 調査実施方法

- アンケート配布時期 : 2020年3月
- 2020年3月卒業生数 : 3,030名
- 有効回収数 : 1,311票
- 回収率 : 43.3% (回収率は、有効回収数/3月卒業生数で計算した)

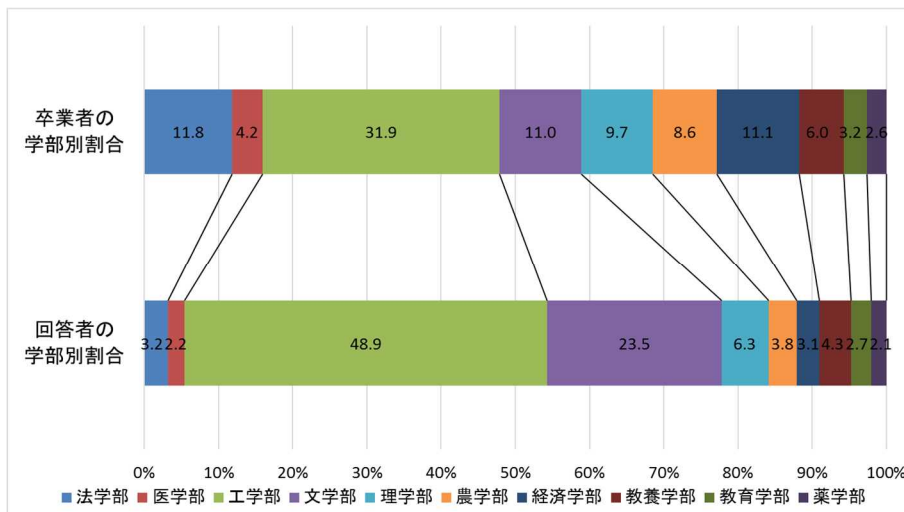
回収率が例年より低かったため、全体の傾向としてみるためには留意が必要である。

※学部(各学科)において、卒業式後の書類配布時等に調査票を配布、回収した。新型コロナウイルス感染症対策のため、2019年度に限り、返信用封筒を用いる回収方法を選択できるようにした。

※グラフの個々の数字は、小数点以下を四捨五入しているため、数字を合計して100%にならない場合がある。

## I. 回答者の特性

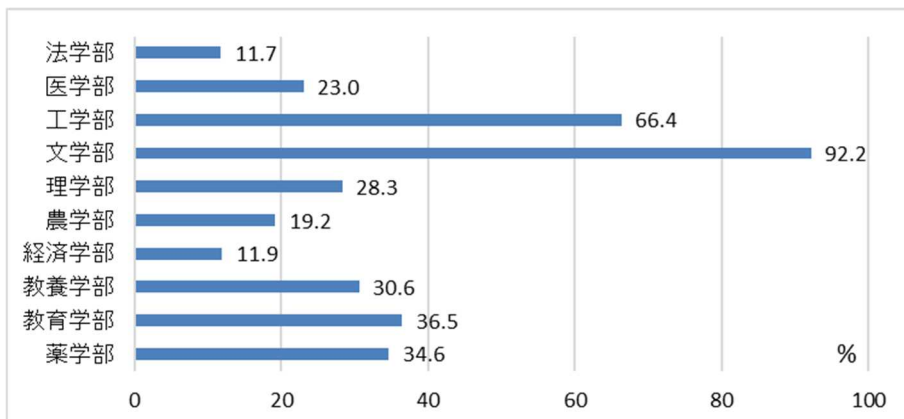
### 後期課程 所属学部



卒業生の学部別割合は、各学部の卒業生数/3月卒業生数で計算した。

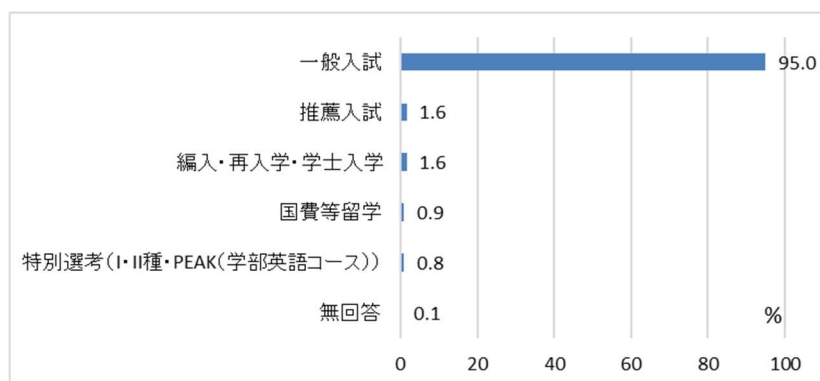
回答者の学部別割合は、各学部の回収数/有効回収数で計算した。工学部と文学部の回答者の割合が、卒業生の学部別割合よりも高くなっているため、全体の傾向としてみるためには留意が必要である。

### 学部別回収率



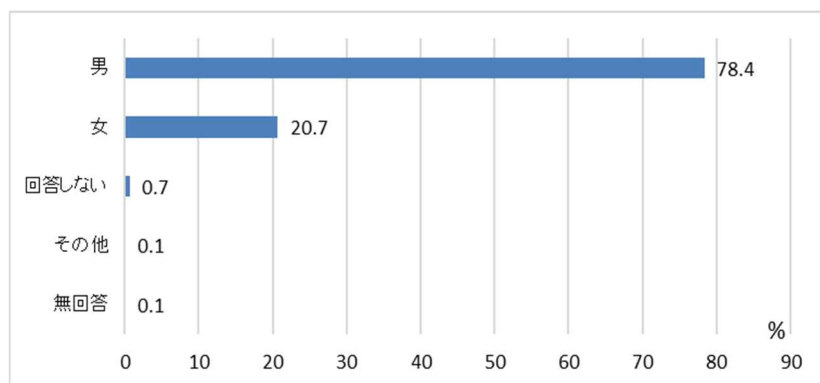
学部別回収率について、文学部が92.2%と最も高い割合となっている。次いで工学部が66.4%、教育学部が36.5%、薬学部が34.6%、教養学部が30.6%となっている。

### I-1. 入学試験



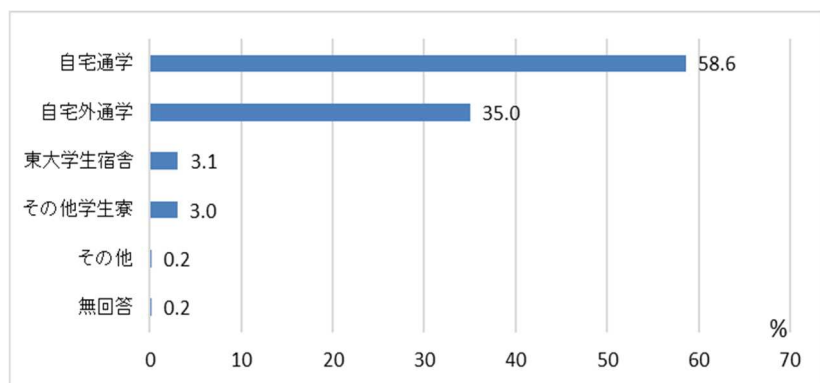
回答者のうち、一般入試が95.0%と最も高い割合となっている。次いで推薦入試、編入・再入学・学士入学が1.6%、国費等留学が0.9%、特別選考 (I・II種・PEAK (学部英語コース)) が0.8%となっている。

### I-7. 性別



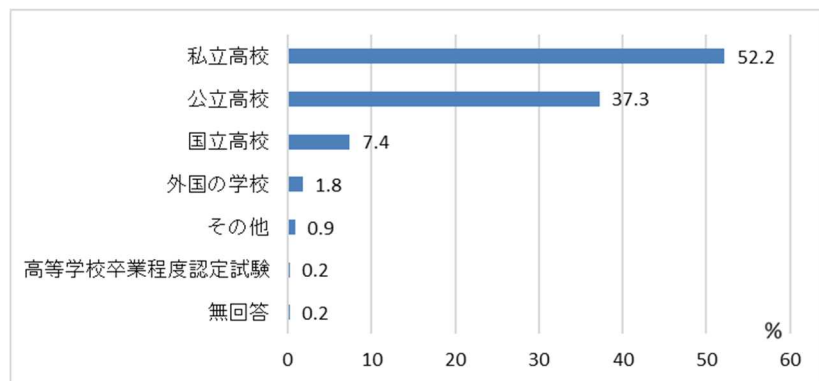
回答者のうち、男性が78.4%、女性が20.7%、回答しないが0.7%となっている。

### I-8. 通学・住居



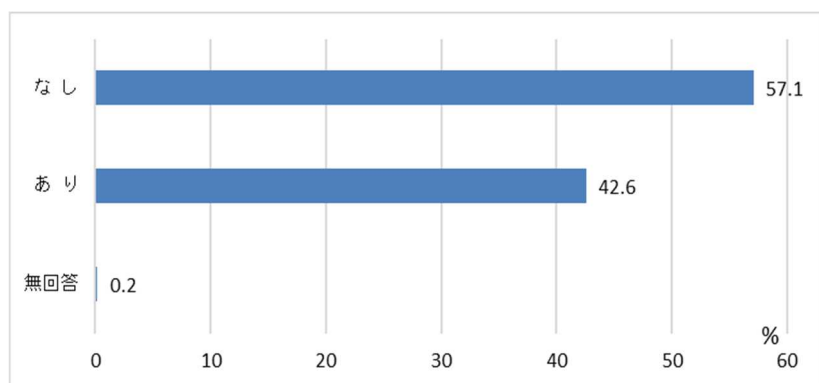
回答者のうち、自宅通学が58.6%、自宅外通学が35.0%、東大学生宿舎が3.1%、その他学生寮が3.0%となっている。

### I-9. 出身高校等



回答者のうち、私立高校が52.2%、公立高校が37.3%、国立高校が7.4%となっている。また、外国の学校は1.8%となっている。

### I-10. 高校受験経験の有無



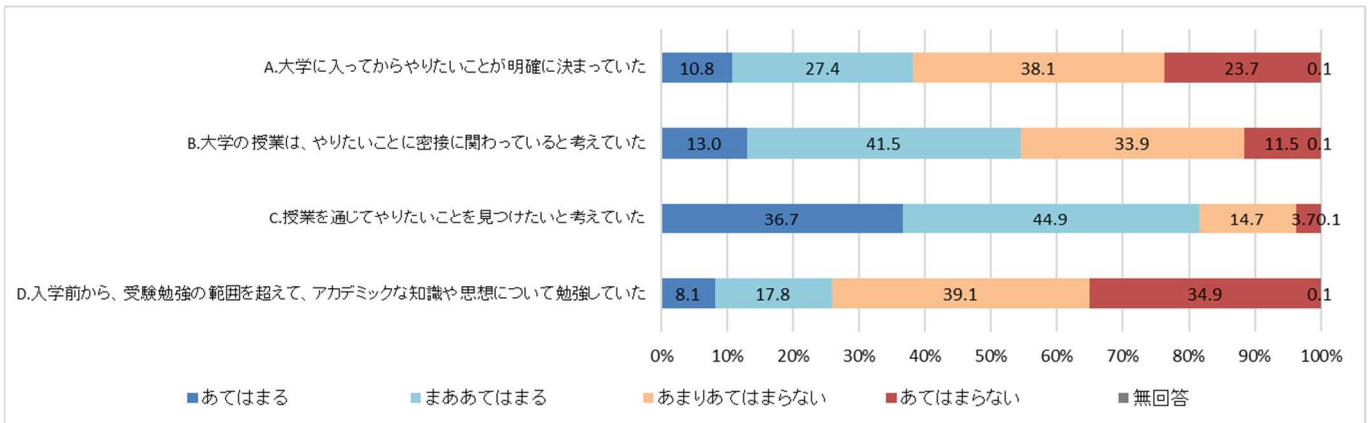
回答者のうち、高校受験の経験がないのは57.1%、高校受験の経験があるのは42.6%となっている。

## Ⅱ. 在学時の経験

### Ⅱ-1. 入学時の様子

- ・「大学に入ってからやりたいことが明確に決まっていた」は38.2%
- ・「授業を通じてやりたいことを見つけたいと考えていた」は81.6%

Ⅱ-1. 入学時の様子について伺います。つぎのことは、どの程度あてはまりますか。



入学時の様子について、「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が、「C. 授業を通じてやりたいことを見つけたいと考えていた」(81.6%)が最も高い割合となっている。次いで「B. 大学の授業は、やりたいことに密接に関わっていると考えていた」(54.5%)、「A. 大学に入ってからやりたいことが明確に決まっていた」(38.2%)、「D. 入学前から、受験勉強の範囲を超えて、アカデミックな知識や思想について勉強していた」(25.9%)の順となっている。

## II-2. 大学時代を通じての経験

- ・ 前期課程：「趣味やスポーツなどが充実した」は82.0%
- ・ 後期課程：「優れた友人に感化された」は84.9%
- ・ 両課程共通して、「優れた友人に感化された」が高い割合

II-2. 大学時代を通じての経験を総合して、つぎのようなことはどの程度あてはまりますか。前期課程と後期課程について、それぞれお答えください。

	前期課程 (%)			後期課程 (%)		
	あてはまる	まああてはまる	合計	あてはまる	まああてはまる	合計
A. アカデミックな雰囲気の中に自分を置いた	8.7	28.2	36.9	25.6	47.5	73.1
B. 自主勉強会など自分の興味ある学修をする機会を得られた	7.3	15.6	22.9	17.3	29.6	46.9
C. 一つのことに没頭して取り組んだことがある	39.7	28.5	68.2	50.0	34.2	84.2
D. 議論したり、ともに考えたりする友達を得られた	29.3	36.8	66.1	43.1	38.2	81.3
E. 優れた友人に感化された	43.8	33.4	77.2	52.9	32.0	84.9
F. 研究室やサークルなどのOB、OGと知り合いになれた	42.6	25.4	68.0	49.5	28.1	77.6
G. 自分の専門以外の本をよく読んだ	17.8	30.7	48.5	17.5	26.3	43.8
H. 専門書や学術雑誌をよく読んだ	8.2	17.8	26.0	23.4	37.5	60.9
I. 趣味やスポーツなどが充実した	50.3	31.7	82.0	41.3	32.0	73.3
J. 勉強したい専門がなかった	9.7	31.5	41.2	5.3	18.7	24.0
K. 前期課程では、後期課程の授業を理解するだけの能力や前提となる知識が身につかなかった	10.0	29.5	39.5			
L. 後期課程では授業についていくのに苦労した				8.9	26.0	34.9
M. 就職活動に時間をさきすぎた				3.0	7.6	10.6

前期課程における経験について、「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が、「I. 趣味やスポーツなどが充実した」(82.0%)が最も高い割合となっている。次いで「E. 優れた友人に感化された」(77.2%)、「C. 一つのことに没頭して取り組んだことがある」(68.2%)の順となっている。

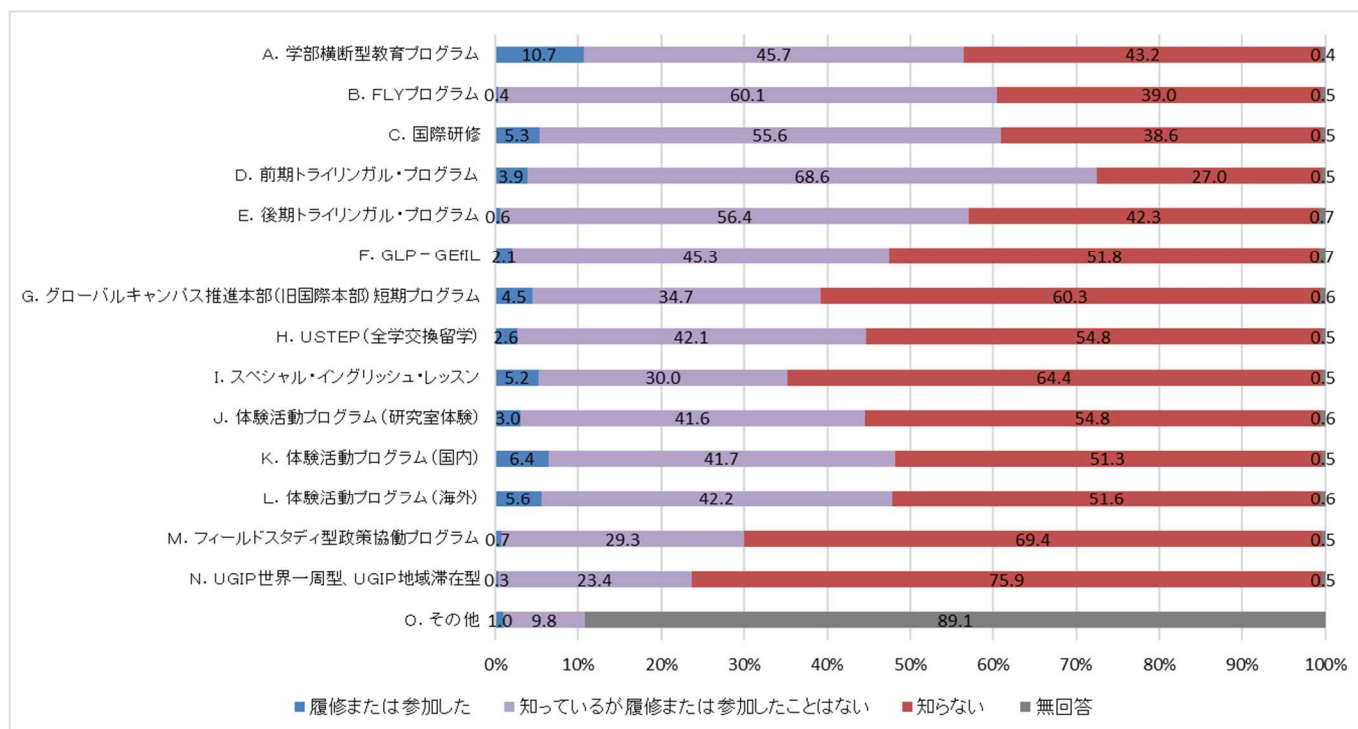
後期課程における経験について、「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が、「E. 優れた友人に感化された」(84.9%)が最も高い割合となっている。次いで「C. 一つのことに没頭して取り組んだことがある」(84.2%)、「D. 議論したり、ともに考えたりする友達を得られた」(81.3%)の順となっている。

前期課程・後期課程共通して、「E. 優れた友人に感化された」が高い割合となっている。

## II-3. 大学が提供する各種プログラム

- ・ 学部横断型教育プログラムの履修または参加率は10.7%、そのほかのプログラムは10%未満
- ・ 「前期トライリンガル・プログラム」は72.5%が認知

II-3. 大学が提供するプログラムの履修または参加について伺います。



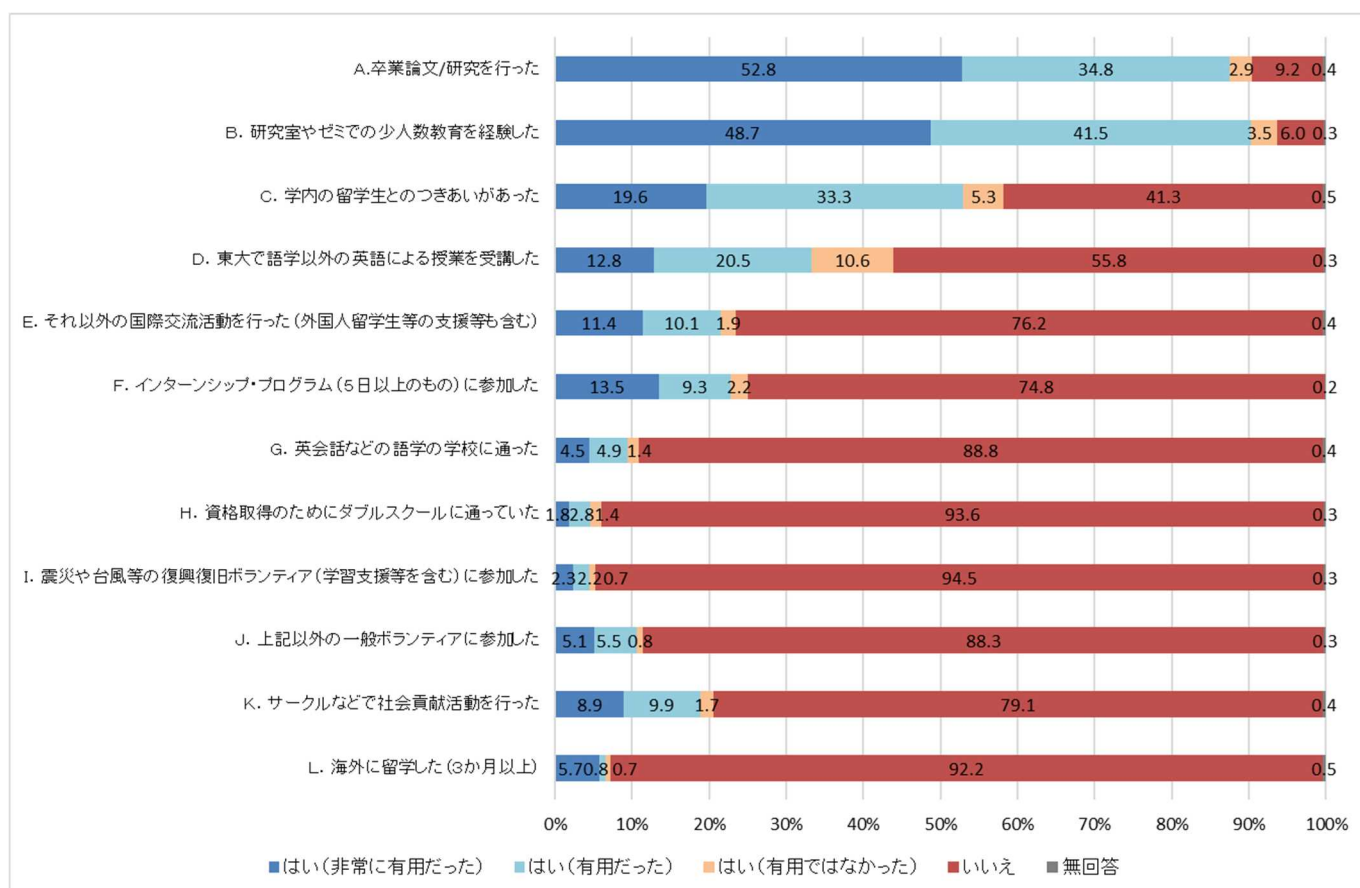
大学が提供する各種プログラムについて、「履修または参加した」の回答が、「A. 学部横断型教育プログラム」(10.7%)が最も高い割合となっている。次いで「K. 体験活動プログラム(国内)」(6.4%)、「L. 体験活動プログラム(海外)」(5.6%)の順となっている。

一方で、「履修または参加した」と「知っているが履修または参加したことはない」の合計が、「D. 前期トライリンガル・プログラム」(72.5%)が最も高い割合となっている。次いで「C. 国際研修」(60.9%)、「B. FLYプログラム」(60.5%)の順となっている。

## II-4. 在学時の学修機会・経験

- ・「研究室やゼミでの少人数教育を経験した」は93.7%
- ・「卒業論文/研究を行った」は90.5%
- ・「学内の留学生とのつきあいがあった」は58.2%

II-4. 在学時の学修機会・経験について伺います。



在学時の学修機会・経験について、経験者（「はい（非常に有用だった）」と「はい（有用だった）」と「はい（有用ではなかった）」の合計）の回答が、「B. 研究室やゼミでの少人数教育を経験した」（93.7%）が最も高い割合となっている。次いで「A. 卒業論文/研究を行った」（90.5%）、「C. 学内の留学生とのつきあいがあった」（58.2%）、「D. 東大で語学以外の英語による授業を受講した」（43.9%）、「F. インターンシップ・プログラム（5日以上のもの）に参加した」（25.0%）の順となっている。

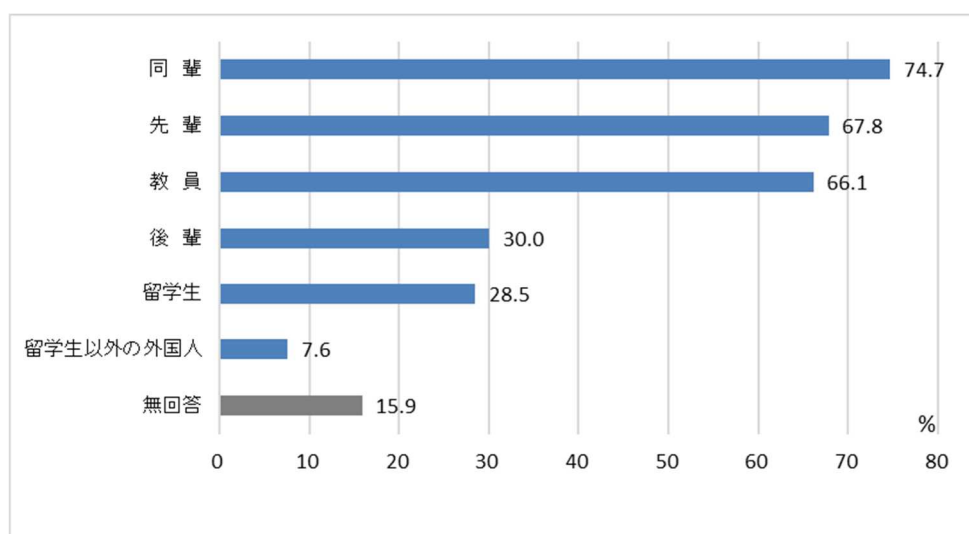
経験者は、全体的に「はい（非常に有用だった）」と「はい（有用だった）」が高い割合となっている。



## II-5. アカデミックな交流

- ・「同輩」は74.7%
- ・「先輩」は67.8%
- ・「教員」は66.1%
- ・「後輩」は30.0%
- ・「留学生と留学生以外の外国人」は36.1%

II-5. あなたは授業外で、本学のつぎのような人とアカデミックな交流がありましたか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

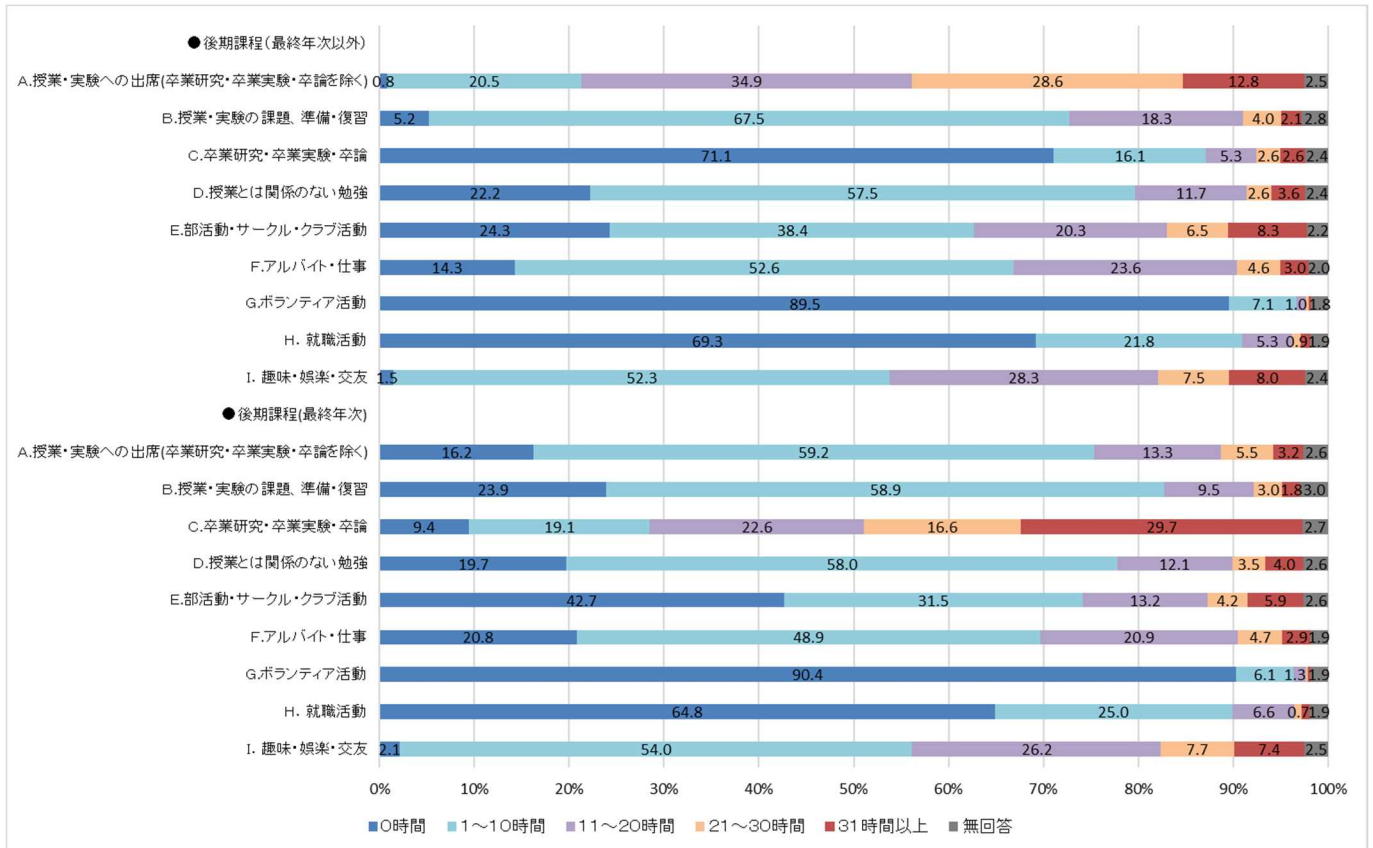


アカデミックな交流について、「同輩」(74.7%)の回答が最も高い割合となっている。次いで「先輩」(67.8%)、「教員」(66.1%)、「後輩」(30.0%)の順となっている。また、「留学生」(28.5%)と「留学生以外の外国人」(7.6%)を合わせると36.1%となる。

## II-6. 生活時間

- 後期課程（最終年次以外）：「授業・実験の課題、準備・復習」は、週に「10時間以下」が72.7%
- 後期課程（最終年次）：「授業・実験の課題、準備・復習」は、週に「10時間以下」が82.8%、「卒業研究・卒業実験・卒論」は、週に「31時間以上」が29.7%

II-6. 典型的な1週間（土、日を含む）の平均的な生活時間を、学期中について伺います。それぞれの活動に何時間あててきたか、およその時間数に該当する数字を1つ選んで、それぞれの欄に記入してください。



生活時間について、典型的な1週間（土、日を含む）の時間数を学期中について、それぞれ後期課程（最終年次以外）と後期課程（最終年次）の状況をたずねた。

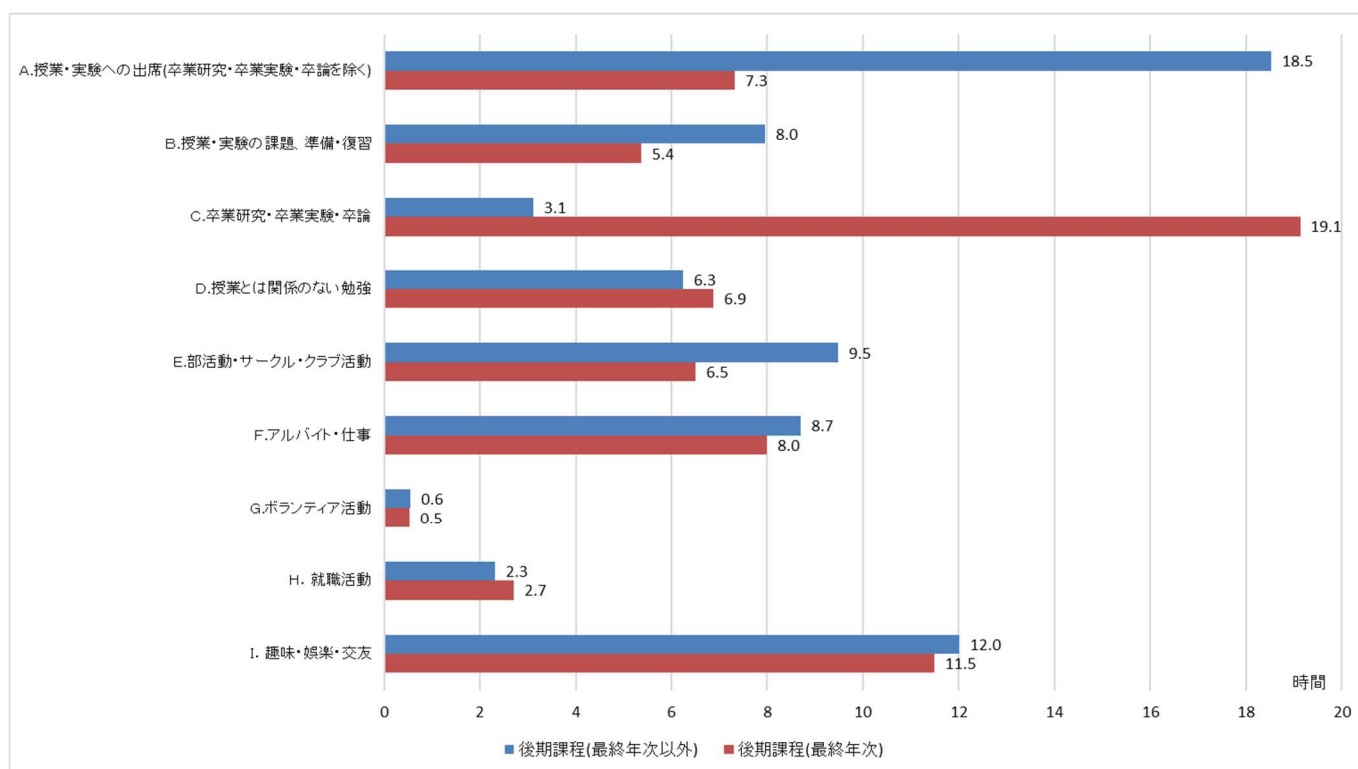
「B. 授業・実験の課題、準備・復習」について、「10時間以下」は後期課程（最終年次以外）では72.7%、後期課程（最終年次）では82.8%となっている。「C. 卒業研究・卒業実験・卒論」は後期課程（最終年次）では「31時間以上」が29.7%で、最も高い割合となっている。

「D. 授業とは関係のない勉強」について、「0時間」は後期課程（最終年次以外）では22.2%、後期課程（最終年次）では19.7%となっている。「G. ボランティア活動」について、「0時間」は後期課程（最終年次以外）では89.5%、後期課程（最終年次）では90.4%となっている。

## II-6'. 生活時間の平均

- ・「授業・実験への出席(卒業研究・卒業実験・卒論を除く)」は、  
後期課程（最終年次以外）で19時間、後期課程（最終年次）で7時間
- ・「授業・実験の課題、準備・復習」は、  
後期課程（最終年次以外）で8時間、後期課程（最終年次）で5時間
- ・「卒業研究・卒業実験・卒論」は、  
後期課程（最終年次以外）で3時間、後期課程（最終年次）で19時間

II-6. 典型的な1週間（土、日を含む）の平均的な生活時間を加工し、生活時間の平均を算出



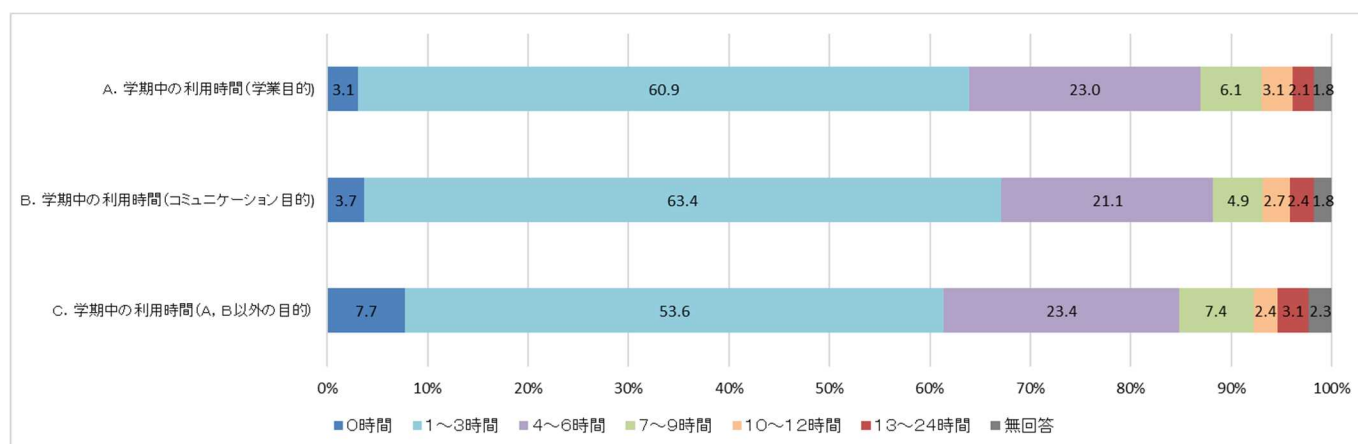
生活時間の回答のそれぞれの中位値（たとえば、「1～5時間」では3時間）を取り、平均を算出した。なお、「31時間以上」は33時間として算出した。

学期中の時間数の平均について、「A. 授業・実験への出席（卒業研究・卒業実験・卒論を除く）」は、後期課程（最終年次以外）で18.5時間、後期課程（最終年次）には7.3時間となっている。「B. 授業・実験の課題、準備・復習」は、後期課程（最終年次以外）で8.0時間、後期課程（最終年次）には5.4時間となっている。「C. 卒業研究・卒業実験・卒論」は、後期課程（最終年次以外）で3.1時間、後期課程（最終年次）には19.1時間となっている。また、「D. 授業とは関係のない勉強」については、後期課程（最終年次以外）で6.3時間、後期課程（最終年次）で6.9時間となっている。

## Ⅱ-7. インターネットの利用時間

- ・ 学期中（学業目的） : 「3時間以下」が64.0%、「7時間以上」が11.3%
- ・ 学期中（コミュニケーション目的） : 「3時間以下」が67.1%、「7時間以上」が10.0%

Ⅱ-7. 典型的な1日(24時間)で、PC、タブレット、スマートフォンなど、すべて合わせてインターネット（ウェブ検索、SNSなど）を利用した時間はどのくらいですか。

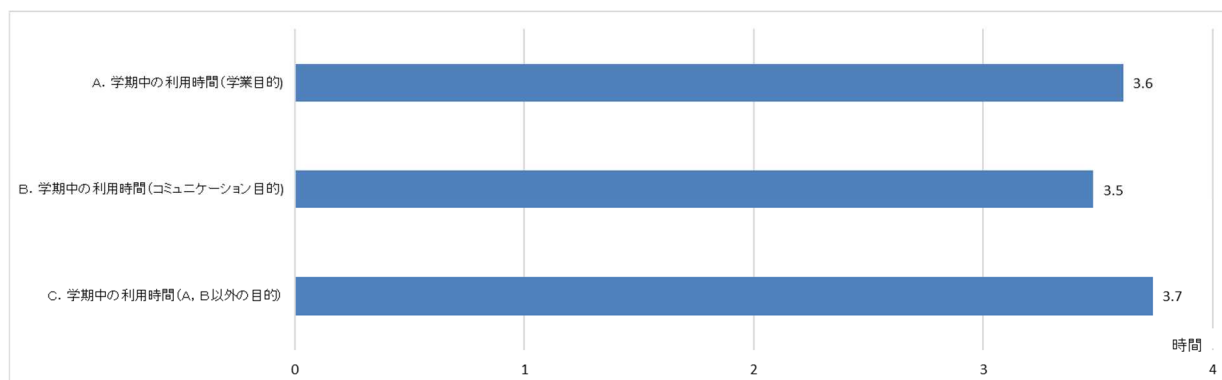


典型的な1日（24時間）のインターネットの利用時間について、「A. 学期中の利用時間（学業目的）」は「1～3時間」が60.9%、「4～6時間」が23.0%となっている。「B. 学期中の利用時間（コミュニケーション目的）」は「1～3時間」が63.4%、「4～6時間」が21.1%となっている。

## Ⅱ-7'. インターネットの利用時間の平均

- ・「学業目的」は3.6時間
- ・「コミュニケーション目的」は3.5時間
- ・「学業目的、コミュニケーション目的以外」は3.7時間

Ⅱ-7. 典型的な1日(24時間)の平均的なインターネットの利用時間を加工し、インターネット利用時間の平均を算出



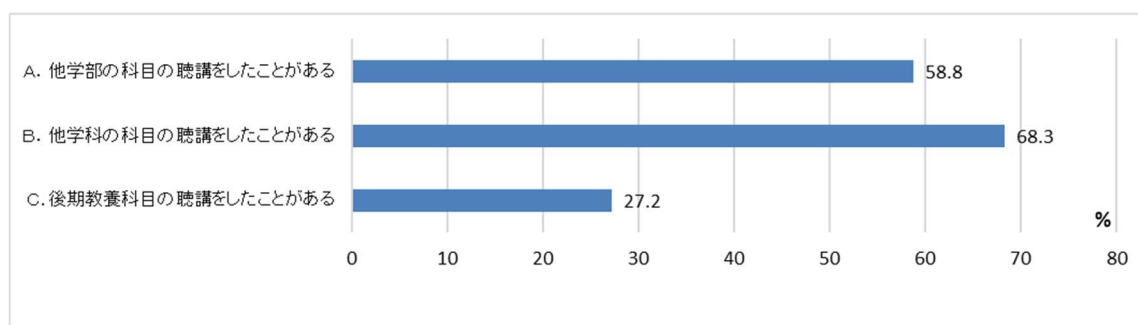
インターネットの利用時間の回答のそれぞれの中位値（たとえば、「1～3 時間」では 2 時間）を取り、平均を算出した。

平均時間について、「A. 学期中の利用時間（学業目的）」は 3.6 時間、「B. 学期中の利用時間（コミュニケーション目的）」は 3.5 時間、「C. 学期中の利用時間（A, B 以外の目的）」は 3.7 時間となっている。

## II-8. 他学部聴講等

- ・「他学部聴講」の経験者は58.8%
- ・「他学科聴講」の経験者は68.3%
- ・「後期教養科目」の聴講は27.2%

II-8. 他学部聴講等について伺います。

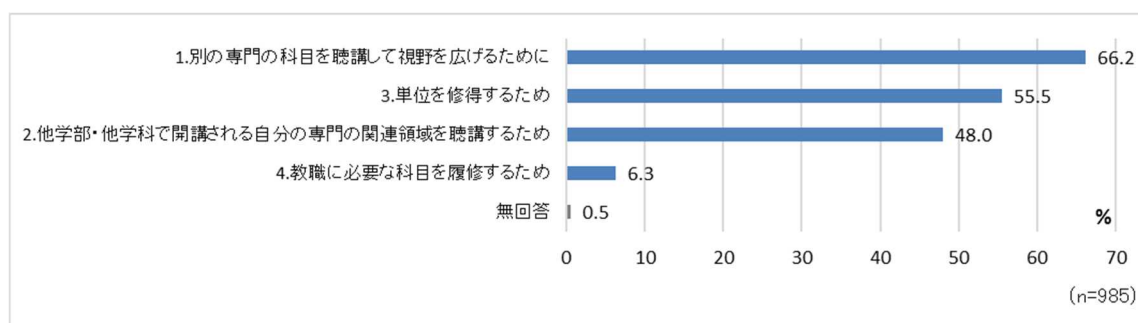


「A. 他学部の科目の聴講をしたことがある」は58.8%、「B. 他学科の科目の聴講をしたことがある」は68.3%、「C. 後期教養科目の聴講をしたことがある」は27.2%となっている。

### II-8-②. 他学部聴講等をした意図

- ・「別の専門の科目を聴講して視野を広げるために」は66.2%
- ・「単位を修得するため」は55.5%

II-8-②. 上記II-8 A、B、Cのどれかで「はい」と答えた方に伺います。どういう意図で聴講しましたか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

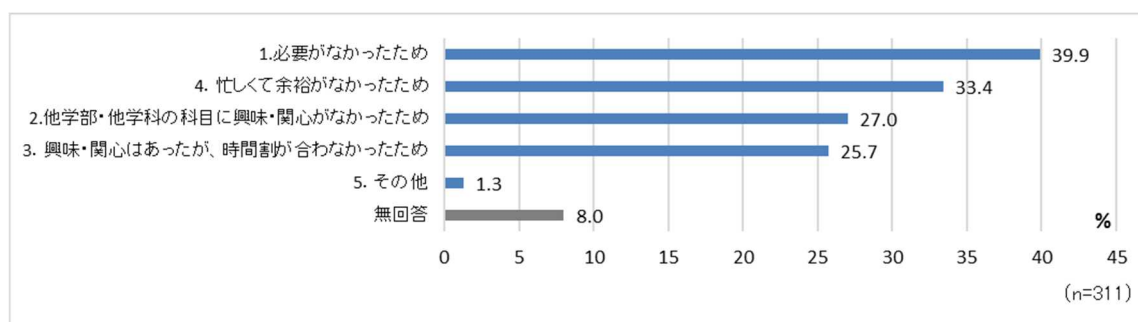


他学部・他学科聴講や後期教養科目の受講をしたと回答した者の意図は、「1.別の専門の科目を聴講して視野を広げるために」(66.2%)が最も高い割合となっている。次いで「3.単位を修得するため」(55.5%)となっている。

## Ⅱ-8-③. 他学部聴講等をしなかった理由

- ・「必要がなかったため」は39.9%
- ・「忙しくて余裕がなかったため」は33.4%

Ⅱ-8-③. 上記Ⅱ-8-① A、B、Cのいずれも「いいえ」と答えた方に伺います。なぜ聴講しませんでしたか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

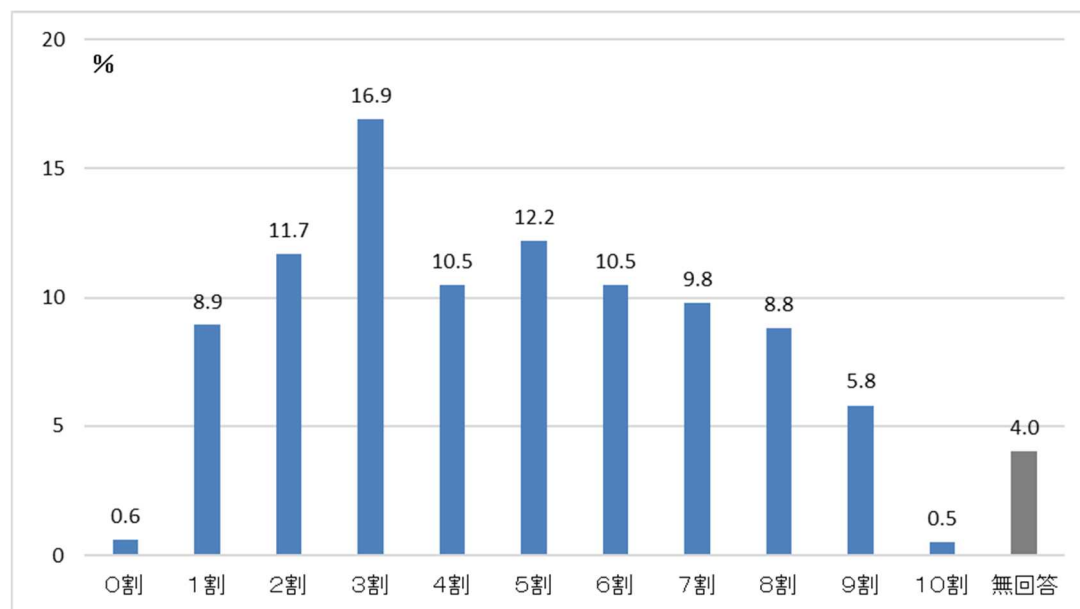


他学部・他学科聴講や後期教養科目の受講をしなかったと回答した者の理由は、「1. 必要がなかったため」(39.9%)が最も高い割合となっている。次いで「4. 忙しくて余裕がなかったため」(33.4%)となっている。

## Ⅱ-9. 成績

・「優の割合」は3割が最も多く、次いで5割と2割

Ⅱ-9. あなたの成績について伺います。「優」(A)は何割くらいありましたか。数値を( )に記入してください。「優上」を含めた割合をお答えください。



成績の自己評価について、優の割合で見ると、「3割」が16.9%と最も多く、次いで「5割」が12.2%、「2割」が11.7%となっている。

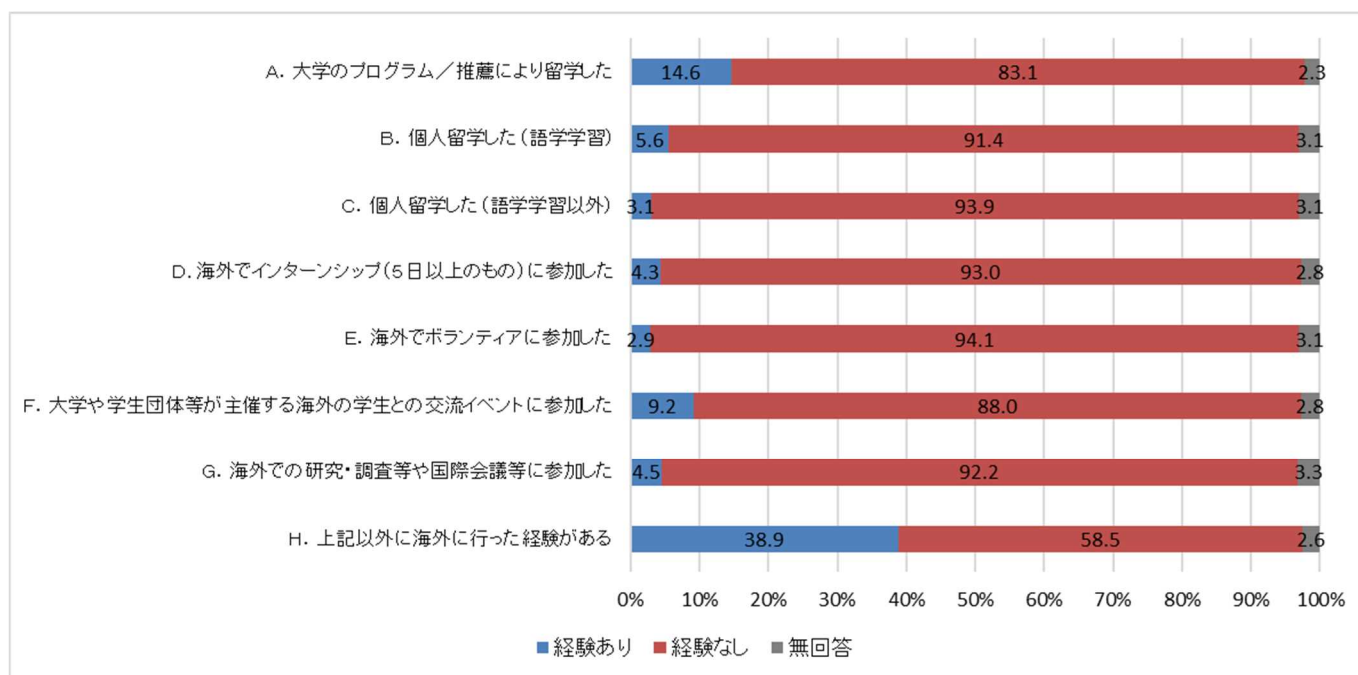


### Ⅲ. 在学時の海外経験等

#### Ⅲ-1. 海外経験

- ・「大学のプログラム／推薦により留学した」の経験は14.6%
- ・「大学や学生団体等が主催する海外の学生との交流イベント」の経験は9.2%

Ⅲ-1. 在学時の海外経験等について、それぞれあてはまる番号に○をつけてください。また、A～H で「経験あり」を選択した場合はⅢ-1-②にお答えください。複数の年度で複数回経験している場合には、それぞれの時期に○をつけてください。

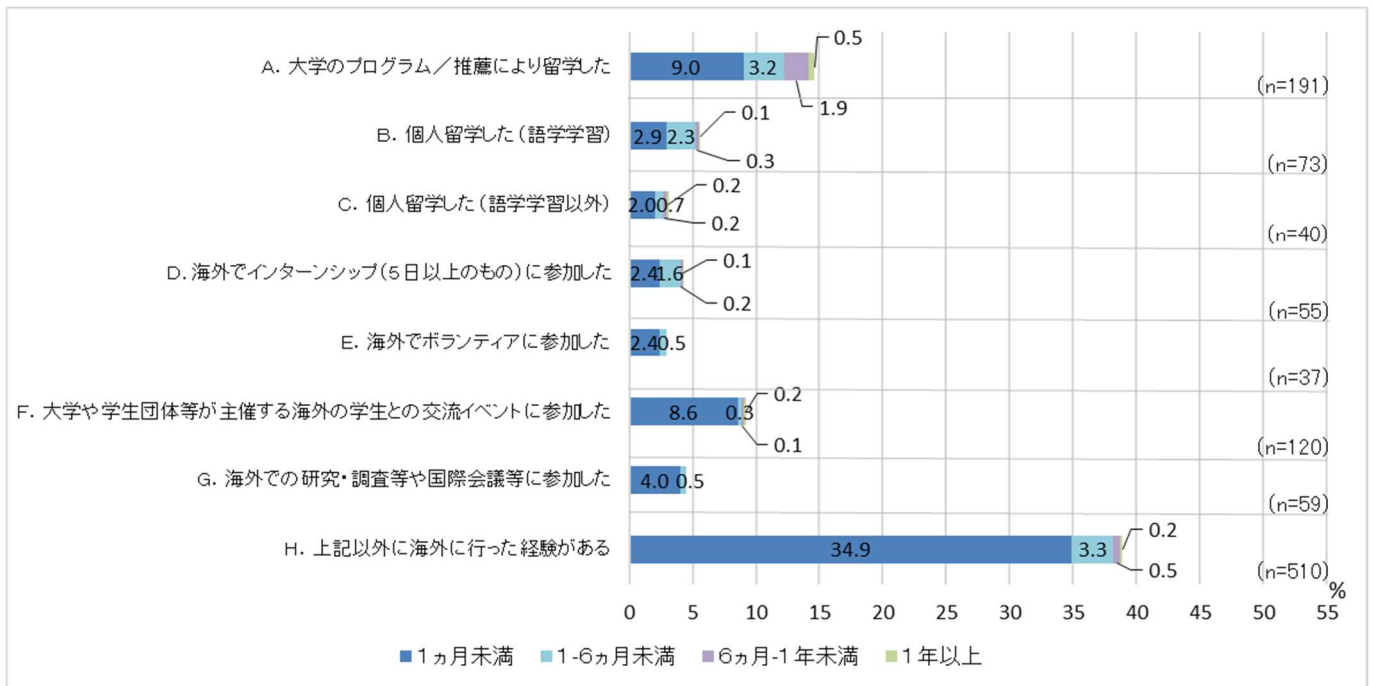


在学時の海外経験等について、「A. 大学のプログラム／推薦により留学した」(14.6%)の回答が最も高い割合となっている。次いで「F. 大学や学生団体等が主催する海外の学生との交流イベントに参加した」(9.2%)、「B. 個人留学した(語学学習)」(5.6%)、「G. 海外での研究・調査等や国際会議等に参加した」(4.5%)の順となっている。

また、「H. 上記以外に海外に行った経験がある」は38.9%になっている。

### Ⅲ-1'. 海外経験の期間

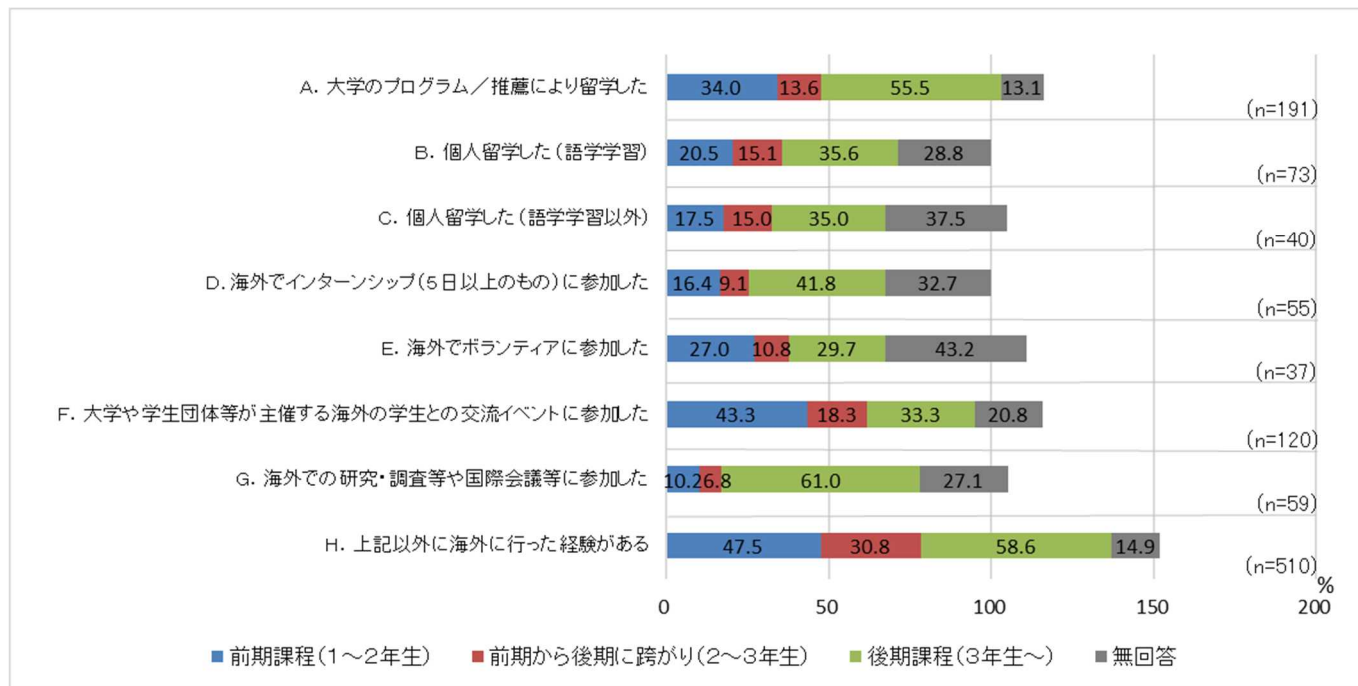
・すべての項目で1ヶ月未満が最も高い割合



海外経験の期間について、すべての項目で1ヶ月未満が最も高い割合となっている。一方で、1ヶ月以上の期間は、「A. 大学のプログラム／推薦により留学した」(5.6%)、「B. 個人留学した(語学学習)」(2.7%)となっている。

### Ⅲ-1-②. 海外経験の時期

- ・ 前期課程（1～2年生）：「大学や学生団体等が主催する海外の学生との交流イベント」の割合が高い
- ・ 前期から後期に跨がり（2～3年生）：全体的に海外経験の割合が低い
- ・ 後期課程（3年生～）：全体的に海外経験の割合が高い



在学時の海外経験について、経験者にどの時期に経験をしたかをたずねた。複数回答のため、合計は 100%を超えている。

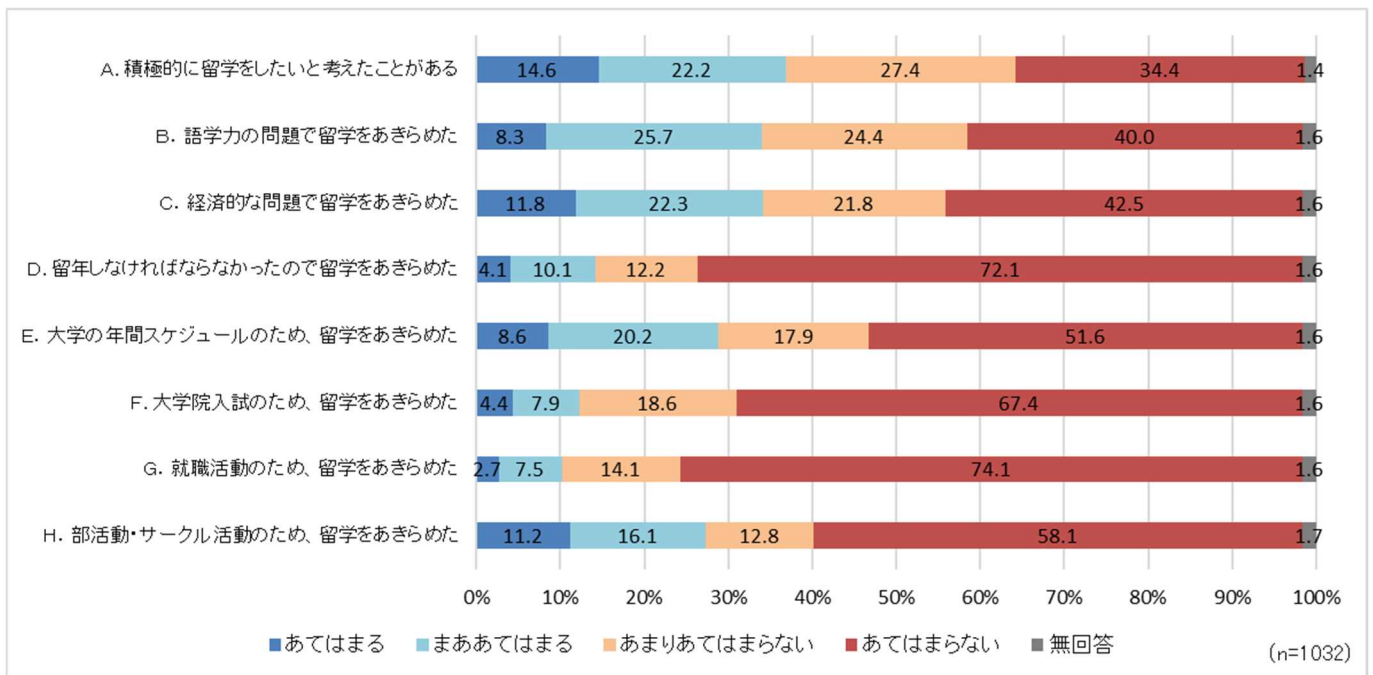
全体的に、後期課程（3年生～）の割合が高い。具体的には、「G. 海外での研究・調査等や国際会議等に参加した」(61.0%)、「A. 大学のプログラム／推薦により留学した」(55.5%)となっている。そのほかのプログラムでも、後期課程（3年生～）は25%以上となっている。前期課程（1～2年生）が後期課程（3年生）の割合を上回っているのは、「F. 大学や学生団体等が主催する海外の学生との交流イベントに参加した」(43.3%)のみとなっている。

全体的に、前期から後期に跨がり（2～3年生）の割合が低い。

### Ⅲ-1-③. 留学の障害

- ・「経済的な問題」は34.1%、「語学力の問題」は34.0%
- ・「大学の年間スケジュール」は28.8%、「部活動・サークル活動」は27.3%
- ・「積極的に留学をしたいと考えたことがある」は36.8%

Ⅲ-1-③. 在学中に留学しなかった方(上記Ⅲ-1のAからCの経験がない方)に伺います。

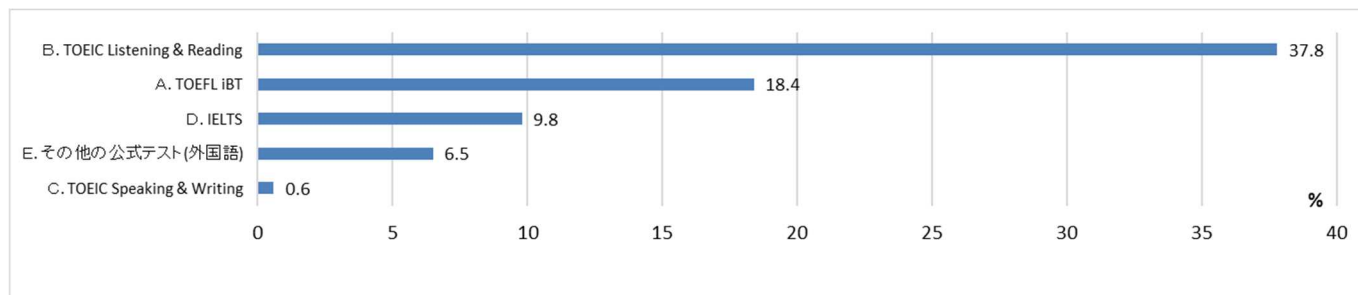


留学の障害について、「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が、「C. 経済的な問題で留学をあきらめた」(34.1%)が最も高い割合となっている。次いで「B. 語学力の問題で留学をあきらめた」(34.0%)、「E. 大学の年間スケジュールのため、留学をあきらめた」(28.8%)、「H. 部活動・サークル活動のため、留学をあきらめた」(27.3%)の順となっている。一方で、「A. 積極的に留学をしたいと考えたことがある」は36.8%となっている。

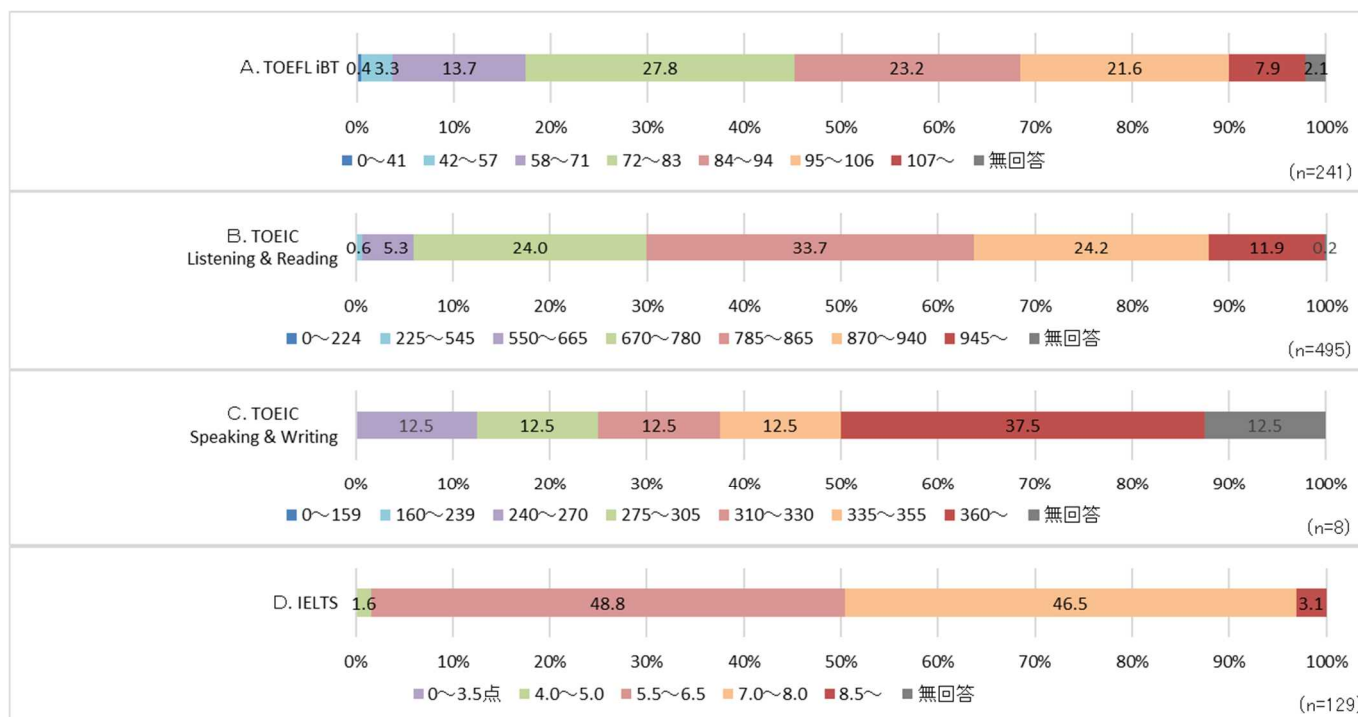
## Ⅲ-2. 外国語テスト

- ・「TOEIC L&R受験者」は37.8%、「TOEFL iBT受験者」は18.4%、「IELTS受験者」は9.8%
- ・ TOEIC L&Rは「785～865点」、TOEFL iBTは「72～83点」、IELTSは「5.5～6.5点」が最も高い割合

Ⅲ-2. あなたは、在学中にTOEFL iBTやTOEIC、IELTS等の公式テストを受験したことがありますか。また、点数はどのくらいでしたか。



TOEIC Listening & Reading 受験者は 37.8%、TOEFL iBT 受験者は 18.4%、IELTS 受験者は 9.8%、TOEIC Speaking & Writing 受験者は 0.6%、その他の公式テスト受験者は 6.5%となっている。



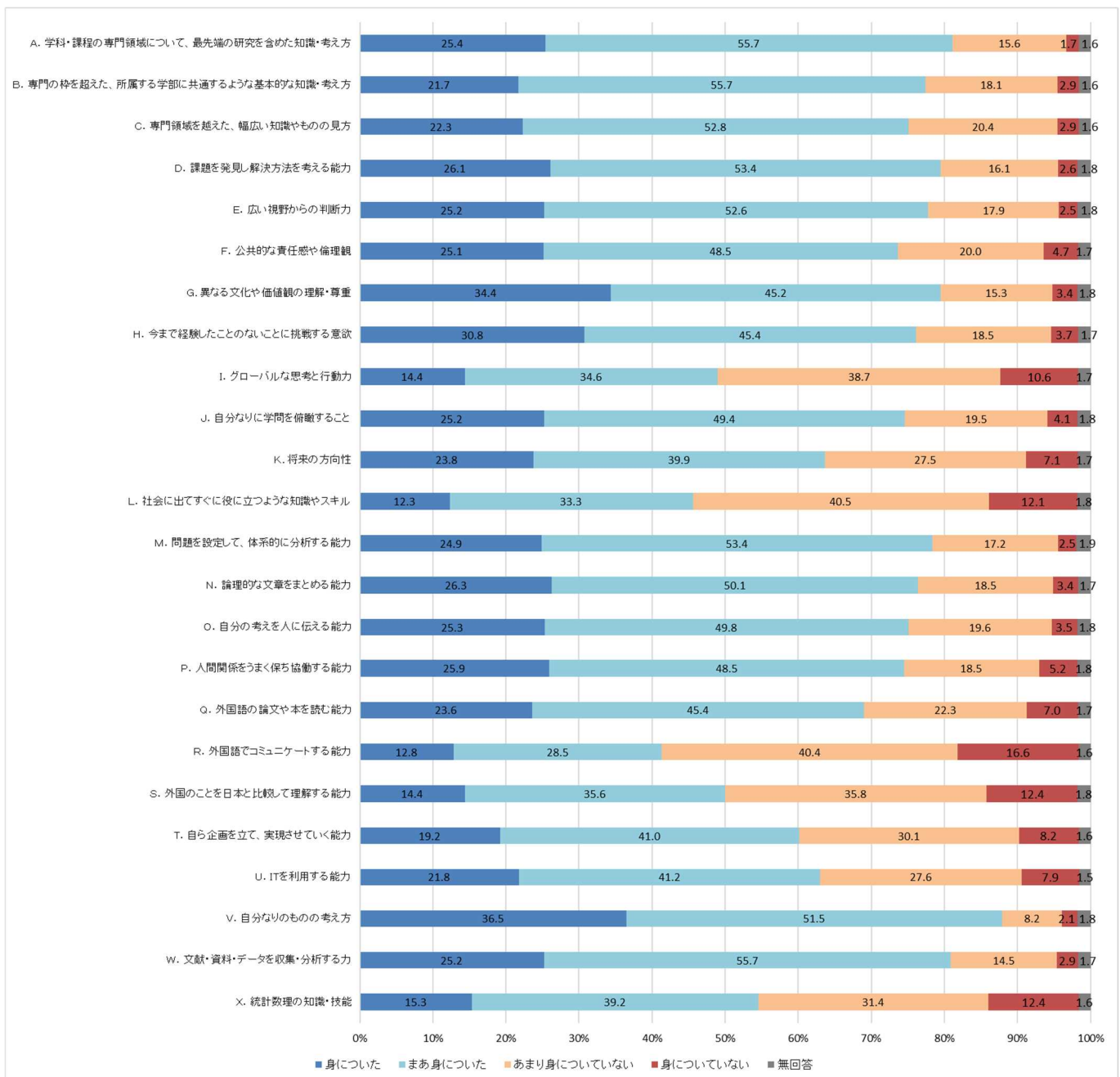
それぞれの得点の分布は、満点が異なるため、割合で示すと、TOEFL iBT は「72～83 点」(27.8%)、TOEIC Listening & Reading 「785～865 点」(33.7%)、TOEIC Speaking & Writing は「360 点～」(37.5%)、IELTS は「5.5～6.5 点」(48.8%) が最も高い割合となっている。

# IV. 在学時の学修

## IV-1. 身につけた点

- ・「外国語でコミュニケーションする能力」：41.3%
- ・「社会に出てすぐに役に立つような知識やスキル」：45.6%
- ・「グローバルな思考と行動力」：49.0%
- ・「外国のことを日本と比較して理解する能力」：50.0%

IV-1. あなたは、つぎのような点を身につけたと思いますか。

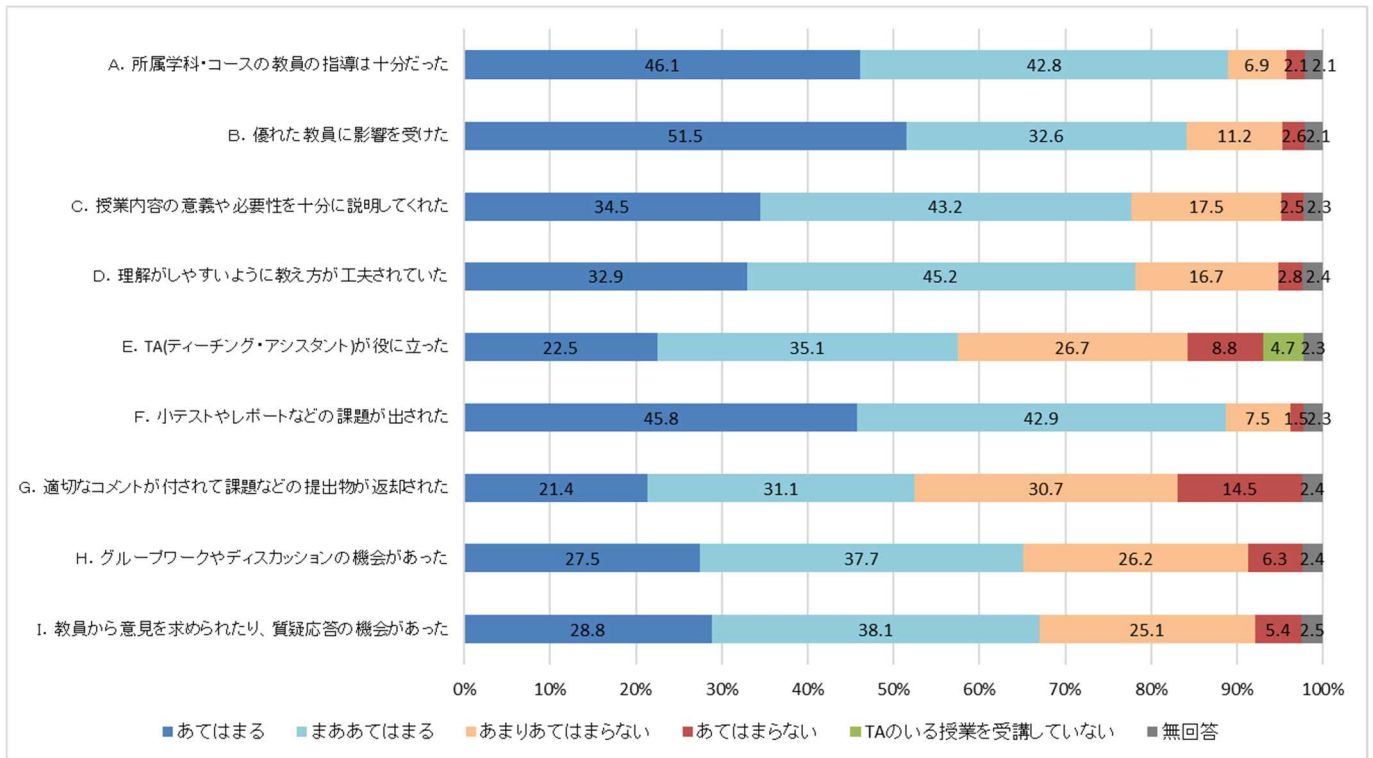


在学時の学修で身につけた点について、「身についた」と「まあ身についた」の合計が、「R. 外国語でコミュニケーションする能力」(41.3%)が最も低い割合となっている。次いで「L. 社会に出てすぐに役に立つような知識やスキル」(45.6%)、「I. グローバルな思考と行動力」(49.0%)、「S. 外国のことを日本と比較して理解する能力」(50.0%)の順となっている。

## IV-2. 教員や教育制度、受講した授業

- ・「所属学科・コースの教員の指導は十分だった」は88.9%
- ・「小テストやレポートなどの課題が出された」は88.7%
- ・「優れた教員に影響を受けた」は84.1%
- ・「適切なコメントが付されて課題などの提出物が返却された」は52.5%

IV-2. 教員や教育制度との関係、受講した授業について伺います。



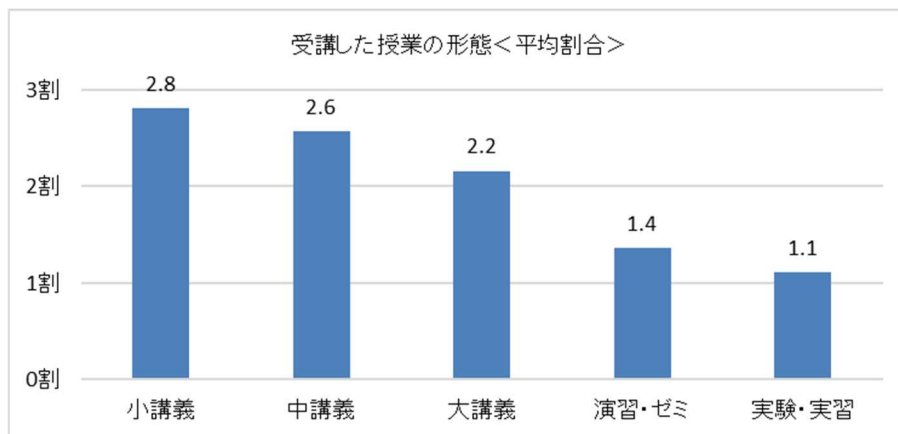
教員や教育制度、受講した授業について、「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が、「A. 所属学科・コースの教員の指導は十分だった」(88.9%)が最も高い割合となっている。次いで「F. 小テストやレポートなどの課題が出された」(88.7%)、「B. 優れた教員に影響を受けた」(84.1%)の順となっている。一方で、「G. 適切なコメントが付されて課題などの提出物が返却された」は52.5%となっている。



## IV-3. 授業形態

- ・「小講義」は2.8割
- ・「中講義」は2.6割
- ・「大講義」は2.2割
- ・「演習・ゼミ」は1.4割
- ・「実験・実習」は1.1割

IV-3. 受講した授業の形態について伺います。これまでの大学生活を振り返って、全体が10割になるように整数でお答えください。

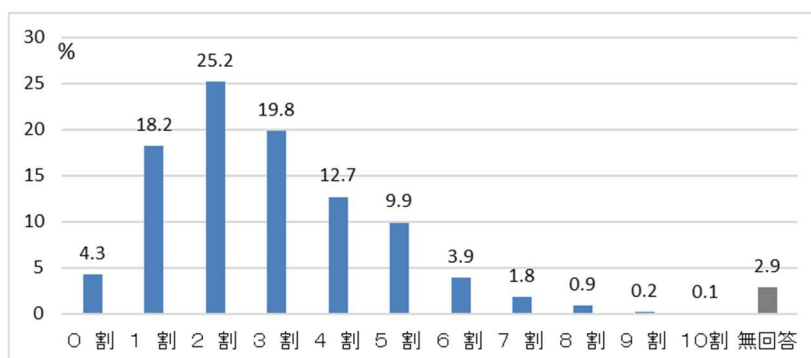


大講義は出席者数が100名以上、中講義は出席者数が50～100名程度、小講義は出席者数が50名未満とした。

受講した授業の形態について、平均割合は、小講義が2.8割と最も高い割合となっている。次いで中講義が2.6割、大講義が2.2割、演習・ゼミが1.4割、実験・実習が1.1割となっている。

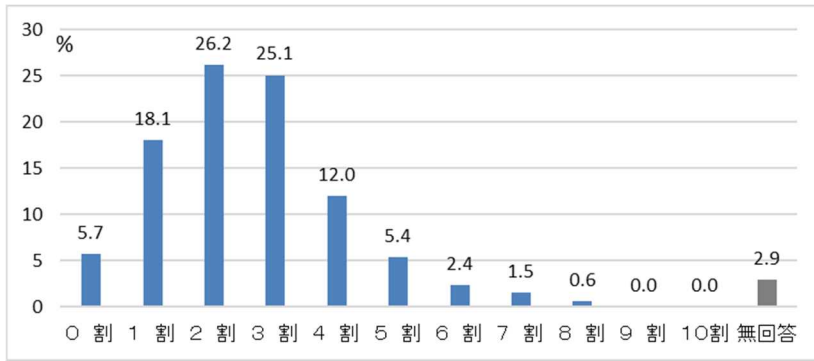
授業形態別の割合は以下のとおりである。

○小講義



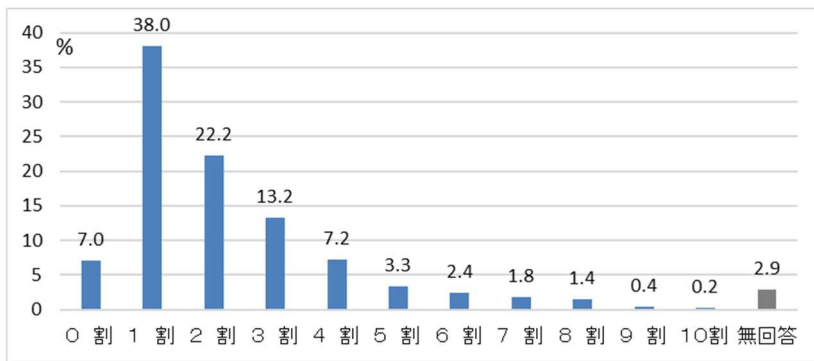
2割が25.2%、3割が19.8%となっている。また、0割は4.3%となっている。

○中講義



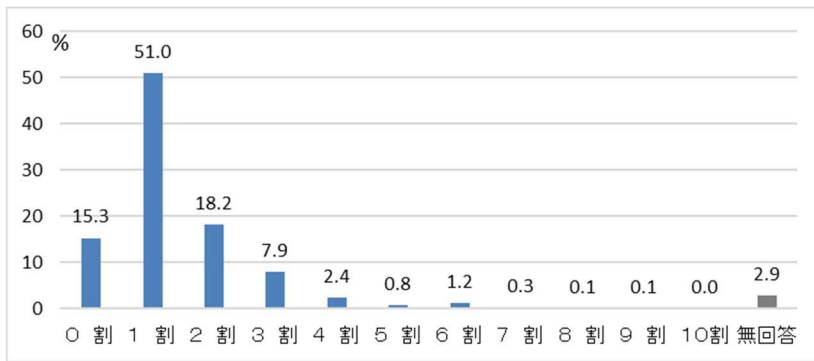
2 割が 26.2%、3 割が 25.1%となっている。また、0 割が 5.7%となっており、9 割・10 割と回答した者はいなかった。

○大講義



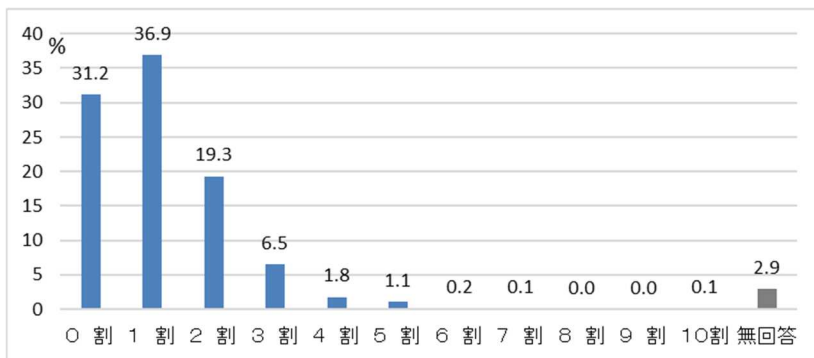
1 割が 38.0%、2 割が 22.2%となっている。また、0 割が 7.0%となっている。

○演習・ゼミ



1 割が 51.0%、2 割が 18.2%となっている。また、0 割が 15.3%となっており、10 割と回答した者はいなかった。

○実験・実習



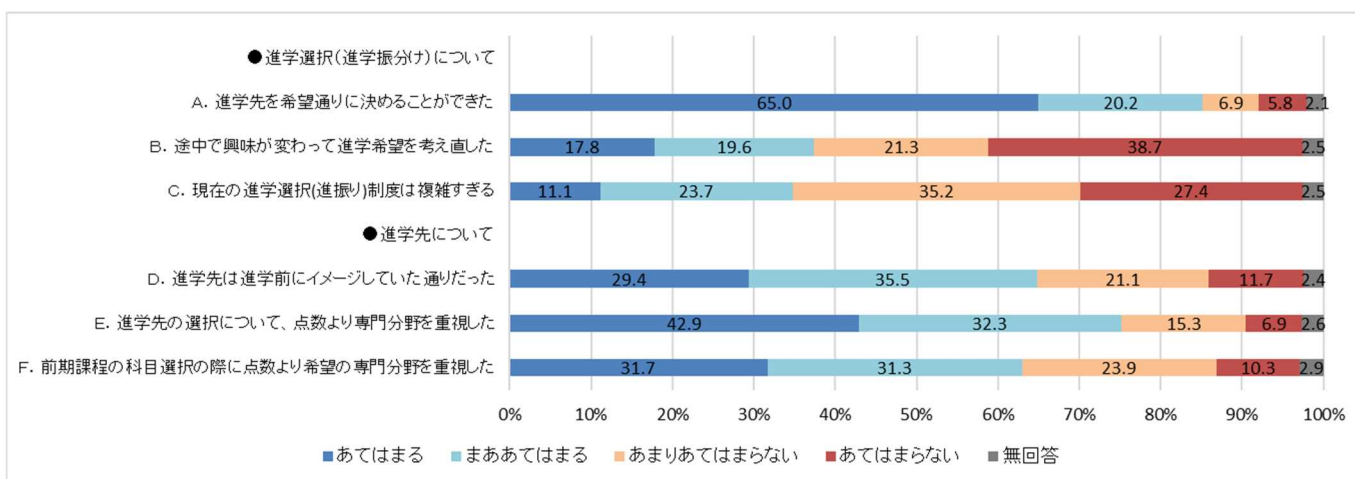
1 割が 36.9%、0 割が 31.2%となっている。また、8 割・9 割と回答した者はいなかった。

## V. 前期と後期の接続

### V-1. 進学選択（進学振分け）・進学先

- ・「進学先を希望通りに決めることができた」は85.2%
- ・「進学先の選択について、点数より専門分野を重視した」は75.2%
- ・「進学先は進学前にイメージしていた通りだった」は64.9%

V-1. 進学選択（進学振分け）や進学先について伺います。

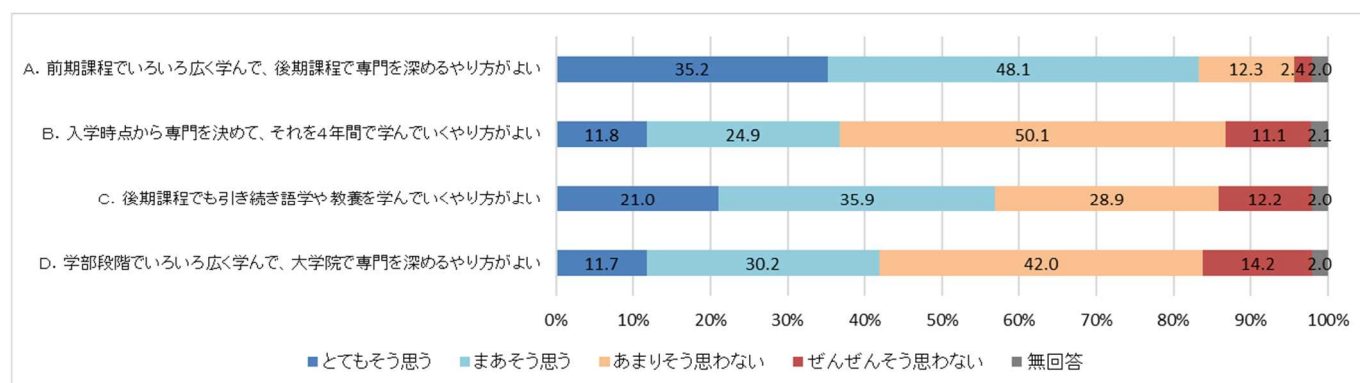


進学選択（進学振分け）や進学先について、「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が、「A. 進学先を希望通りに決めることができた」（85.2%）が最も高い割合となっている。次いで「E. 進学先の選択について、点数より専門分野を重視した」（75.2%）、「D. 進学先は進学前にイメージしていた通りだった」（64.9%）の順となっている。

## V-2. 専門と教養

- ・「前期課程でいろいろ広く学んで、後期課程で専門を深めるやり方がよい」は83.3%
- ・「後期課程でも引き続き語学や教養を学んでいくやり方がよい」は56.9%

V-2. 専門と教養の学修の仕方についていくつかの考え方があります。つぎの項目について、あなたはどのように考えていますか。

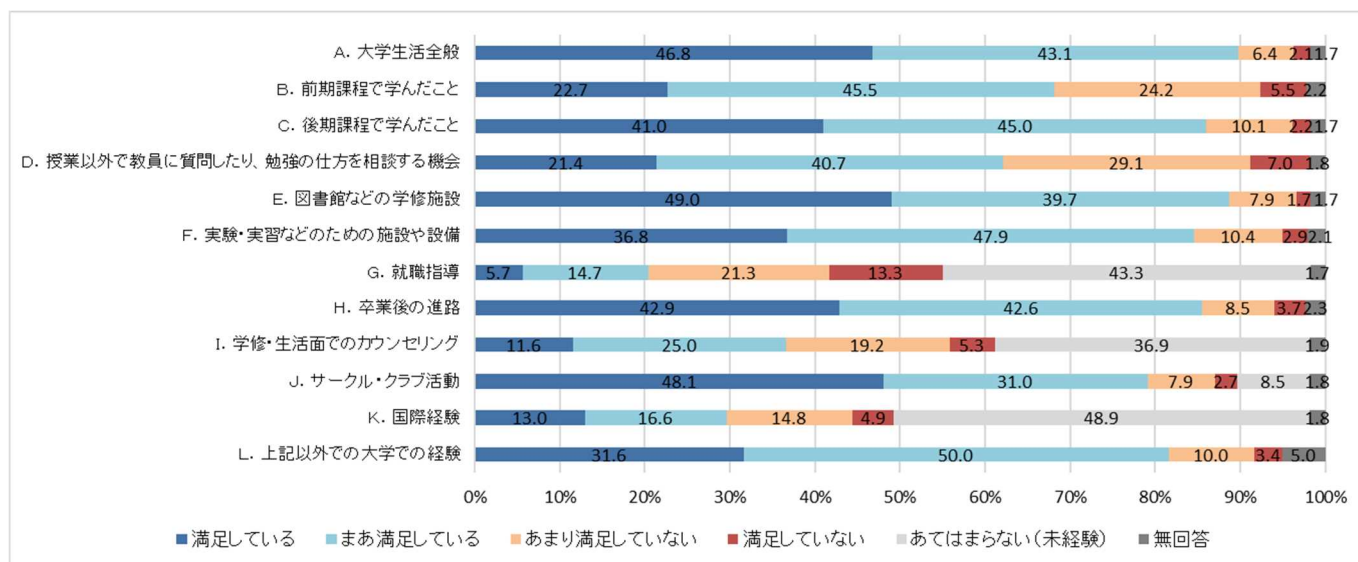


専門と教養の学修の仕方について、「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が、「A. 前期課程でいろいろ広く学んで、後期課程で専門を深めるやり方がよい」(83.3%)が最も高い割合となっている。次いで「C. 後期課程でも引き続き語学や教養を学んでいくやり方がよい」(56.9%)、「D. 学部段階でいろいろ広く学んで、大学院で専門を深めるやり方がよい」(41.9%)の順となっている。

## VI-1. 満足度

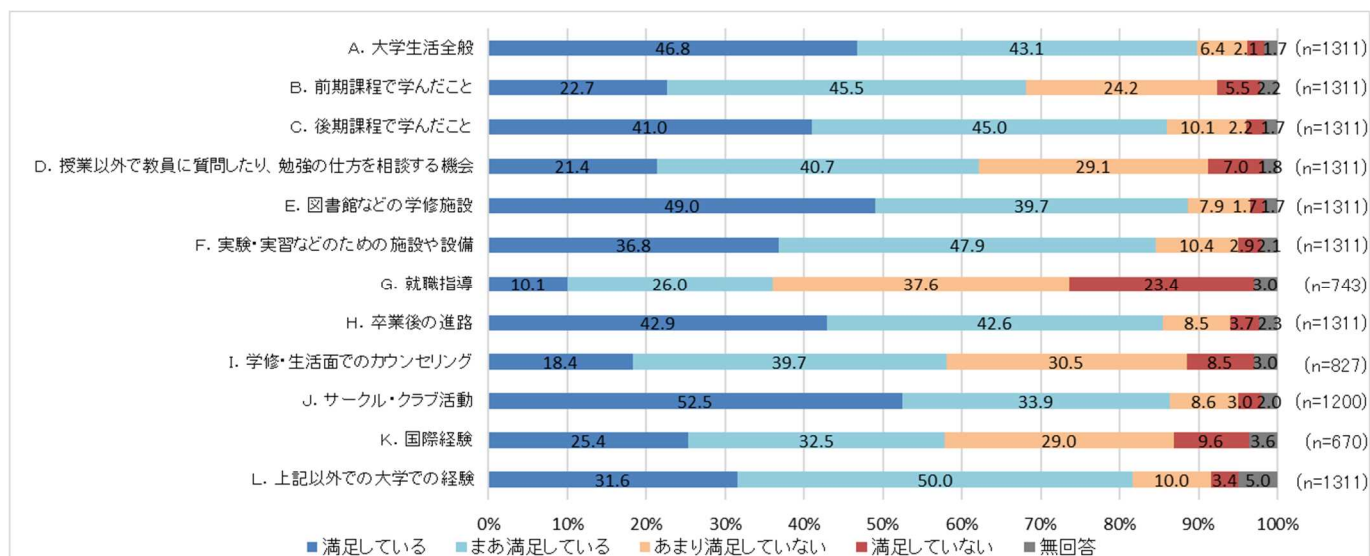
- ・「大学生活全般」は89.9%
- ・「図書館などの学修施設」は88.7%
- ・「後期課程で学んだこと」は86.0%
- ・「卒業後の進路」は85.5%

VI-1. あなたの大学生生活を通じた満足度について伺います。



大学生活の満足度について、「満足している」と「まあ満足している」の合計が、「A. 大学生活全般」(89.9%)が最も高い割合となっている。次いで「E. 図書館などの学修施設」(88.7%)、「C. 後期課程で学んだこと」(86.0%)、「H. 卒業後の進路」(85.5%)の順となっている。

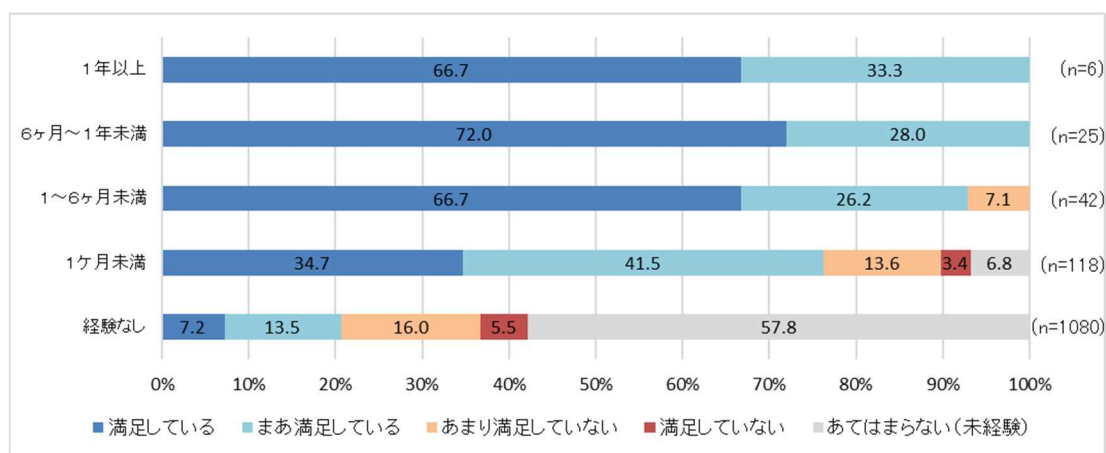
参考として、「G. 就職指導」「I. 学修・生活面でのカウンセリング」「J. サークル・クラブ活動」「K. 国際経験」の満足度で、「あてはまらない(未経験)」と回答した学生を除いて算出した。



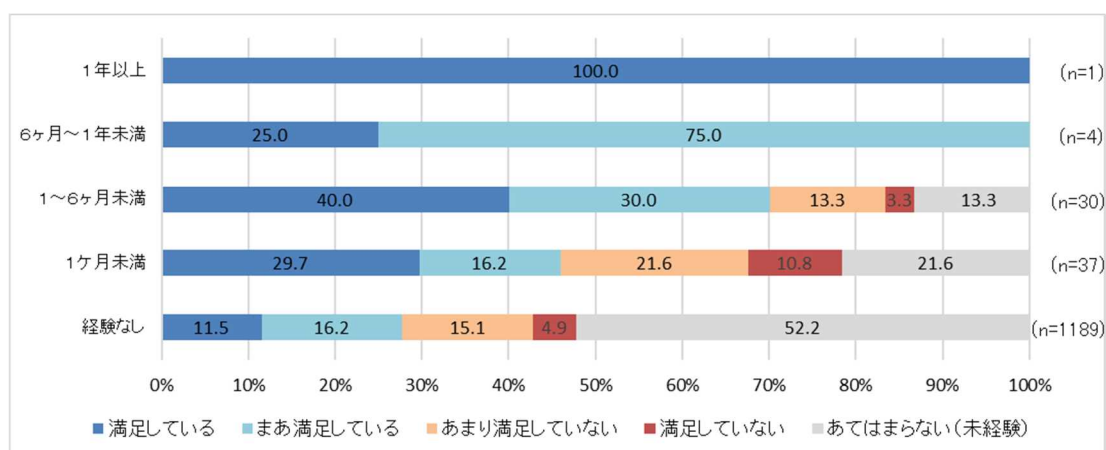
## VI-1'. 満足度（留学経験者）

### ・ 留学経験者の「国際経験」の満足度は高い

#### Ⅲ-1 A. 「大学のプログラム/推薦により留学した」 別VI-1 K. 国際経験満足度



#### Ⅲ-1 B. 「個人留学した（語学学習）」 別VI-1 K. 国際経験満足度



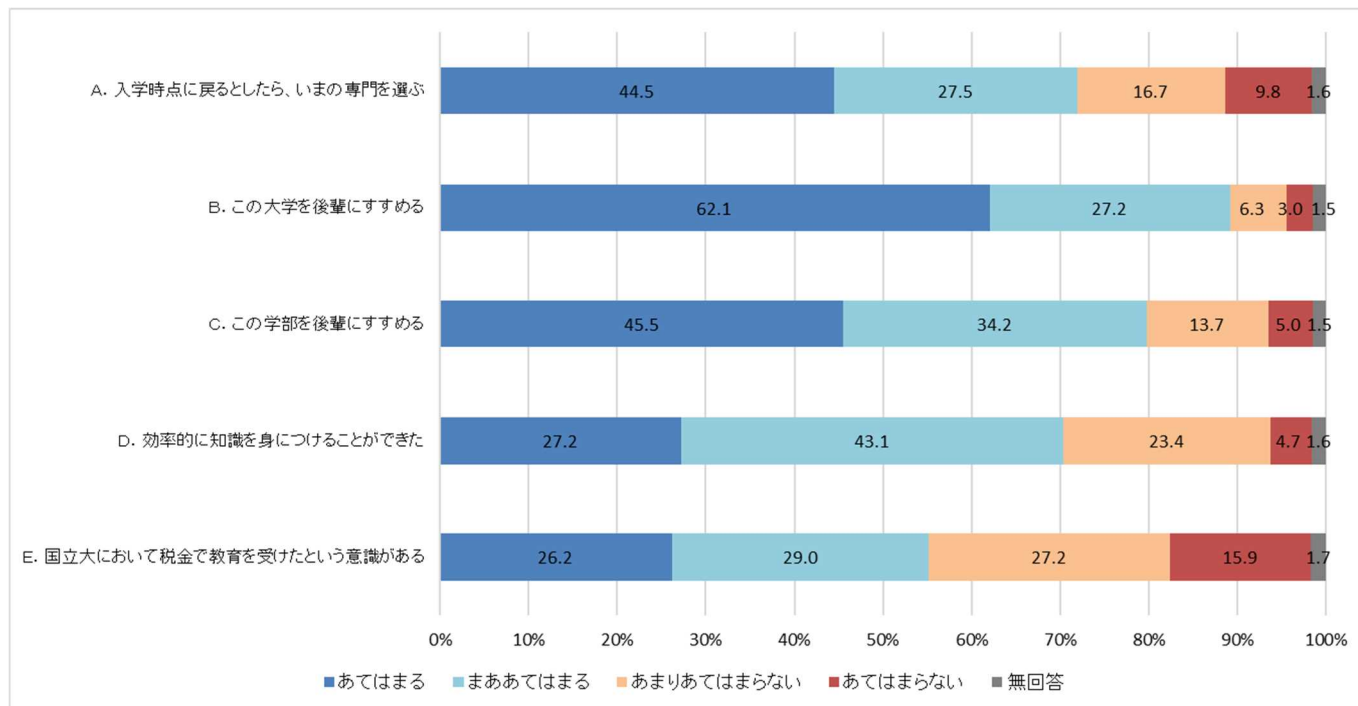
上の図は、「Ⅲ-1 A. 大学のプログラム/推薦により留学した」と「VI-1 K. 国際経験」の満足度との関連を示したものである。国際経験のない者では、満足度（「満足している」（7.2%）と「まあ満足している」（13.5%）の合計）は20.7%と著しく低く、これに対して、「国際経験」のある者では、「1ヶ月未満」の経験期間の者の満足度が最も低いながらも76.2%となっている。「1～6ヶ月未満」の経験期間の者の満足度が92.9%、それ以上の期間の国際経験のある者では、100%となっている。このように、国際経験がある者の満足度は高く、留学経験の長い者ほど満足度が高い。

一方、下の図は、同じように、「Ⅲ-1 B. 個人留学した（語学学習）」と「VI-1 K. 国際経験」の満足度との関連を示したものである。「Ⅲ-1 A. 大学のプログラム/推薦により留学した」と同様に、個人留学の国際経験のない者では、満足度は27.7%と低く、国際経験のある者の方が満足度は高い。しかし、「1ヶ月未満」、「1～6ヶ月未満」の経験期間の者の満足度は「Ⅲ-1 A. 大学のプログラム/推薦により留学した」より低くなっている。

## VI-2. 大学時代を通じての経験

- ・「この大学を後輩にすすめる」は89.3%
- ・「この学部を後輩にすすめる」は79.7%
- ・「入学時点に戻るとしたら、いまの専門を選ぶ」は72.0%

VI-2. 大学時代を通じての経験を総合して、つぎのようなことはどの程度あてはまりますか。

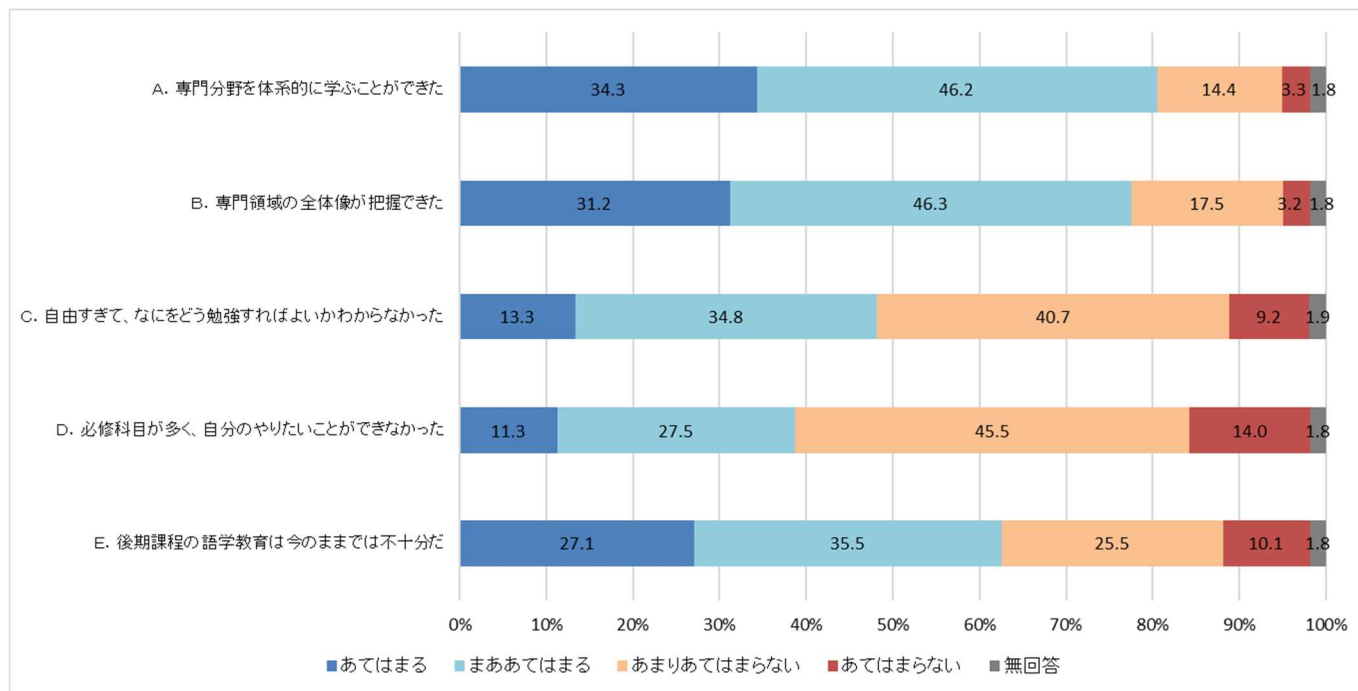


大学時代の経験について、「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が、「B. この大学を後輩にすすめる」(89.3%)が最も高い割合となっている。次いで「C. この学部を後輩にすすめる」(79.7%)、「A. 入学時点に戻るとしたら、いまの専門を選ぶ」(72.0%)の順となっている。

## VI-3. 大学のカリキュラム

- ・「専門分野を体系的に学ぶことができた」は80.5%
- ・「後期課程の語学教育は今のままでは不十分だ」は62.6%

VI-3. 大学のカリキュラムについて伺います。



カリキュラムの肯定的な項目について、「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が、「A. 専門分野を体系的に学ぶことができた」(80.5%)が最も高い割合となっている。次いで「B. 専門領域の全体像が把握できた」(77.5%)となっている。

一方で、カリキュラムの肯定的ではない項目について、「E. 後期課程の語学教育は今のままでは不十分だ」(62.6%)が最も高い割合となっている。次いで「C. 自由すぎて、なにをどう勉強すればよいかわからなかった」(48.1%)、「D. 必修科目が多く、自分のやりたいことができなかった」(38.8%)となっている。

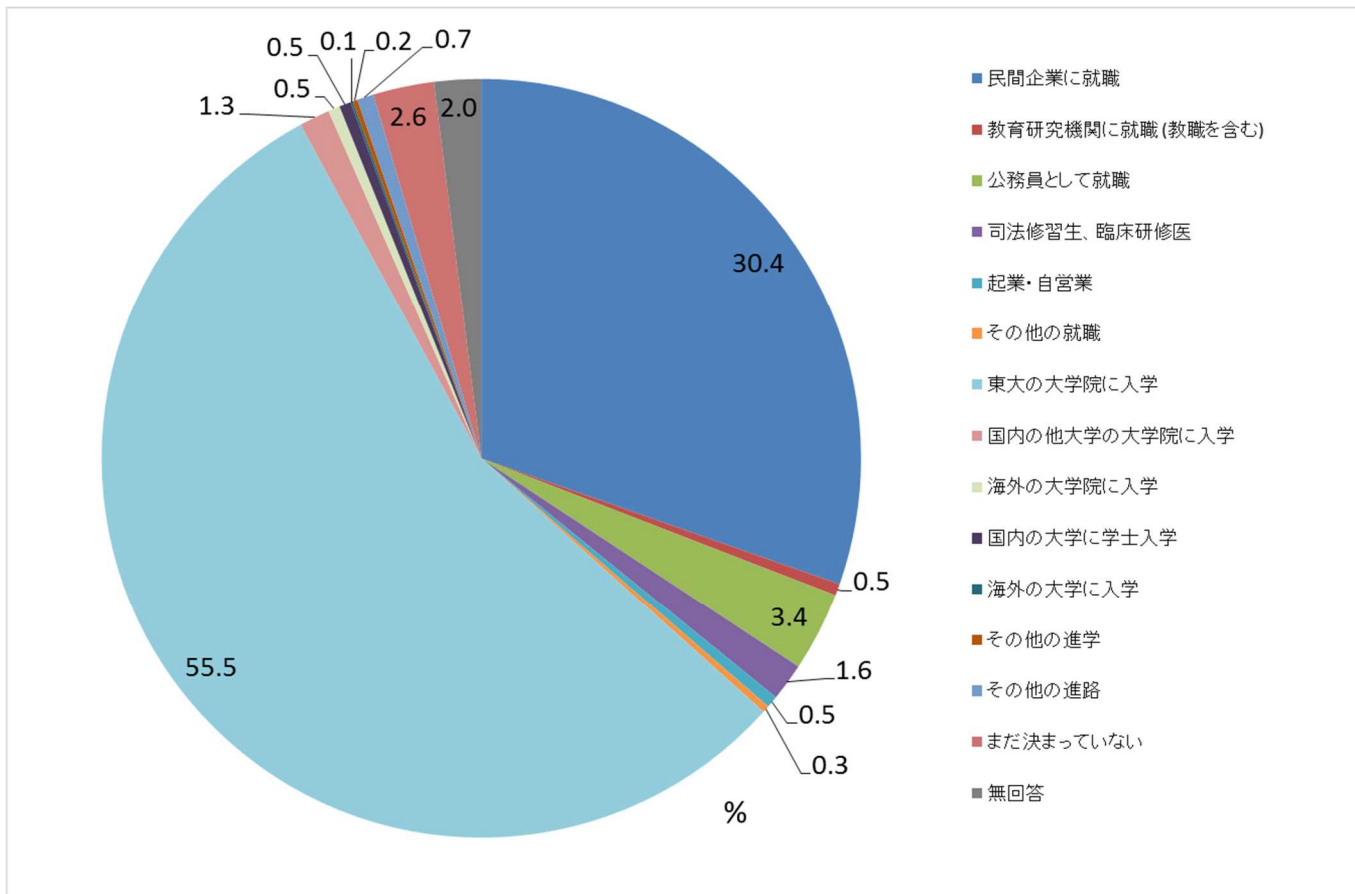


## VII. 卒業後の進路

### VII-1. 卒業後の予定

- ・「入・進学」は58.1%
- ・「就職」は36.7%（うち「民間企業」は30.4%）

VII-1. 卒業後の予定は、下の項目ではどれにあたりますか。

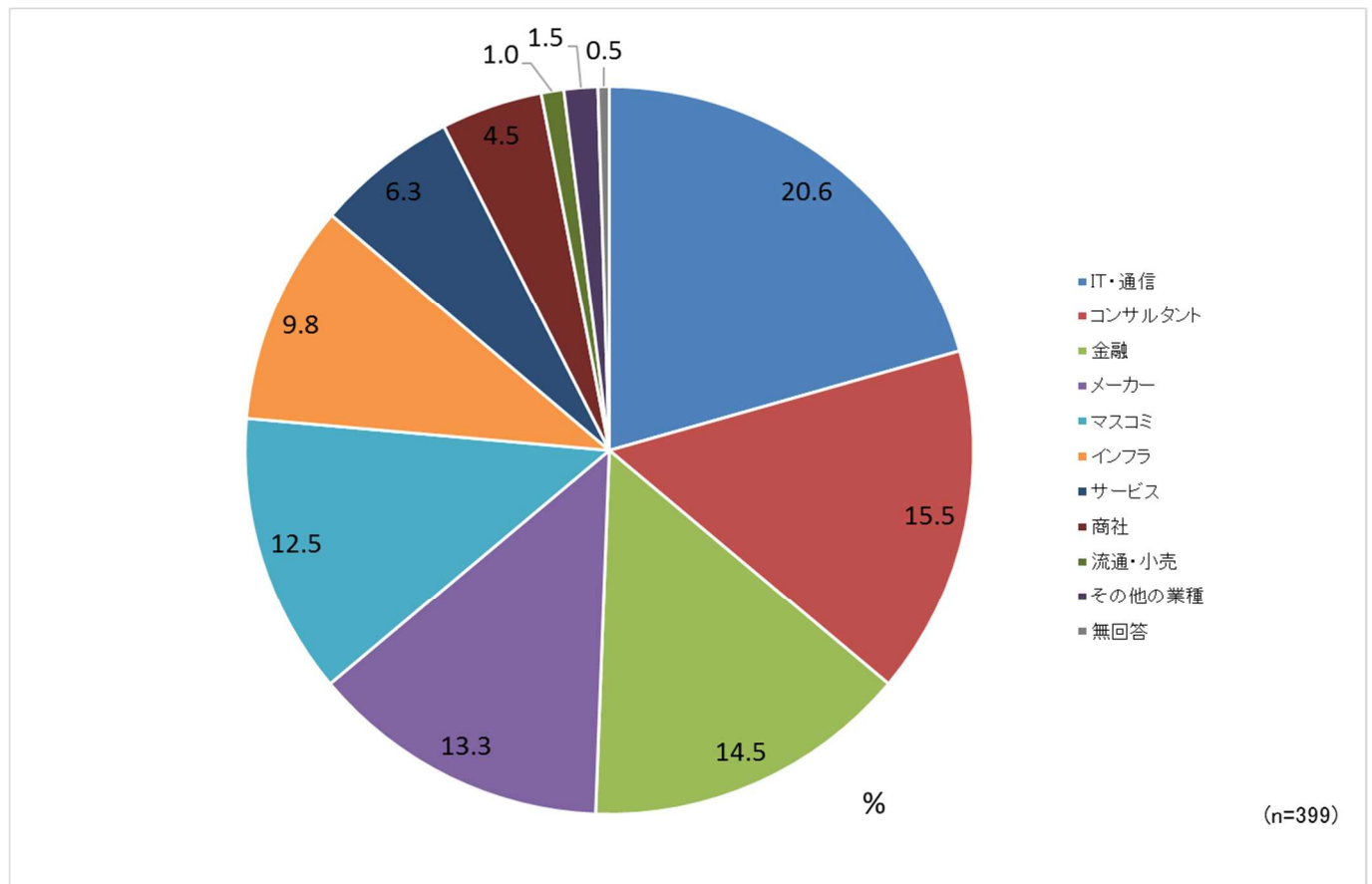


卒業後の予定について、「東大の大学院に入学」(55.5%)、「国内の他大学の大学院に入学」(1.3%)、「海外の大学院に入学」(0.5%)と合わせて、大学院入学予定は57.3%となっている。さらに、「国内の大学に学士入学」(0.5%)、「海外の大学に入学」(0.1%)、「その他の進学」(0.2%)と合わせて入・進学は58.1%となっている。

これに対して、「民間企業に就職」(30.4%)、「公務員として就職」(3.4%)、「司法修習生、臨床研修医」(1.6%)、「教育研究機関に就職(教職を含む)」(0.5%)、「起業・自営業」(0.5%)、「その他の就職」(0.3%)と合わせて就職予定は、36.7%となっている。

## VII-1'. 民間企業の業種

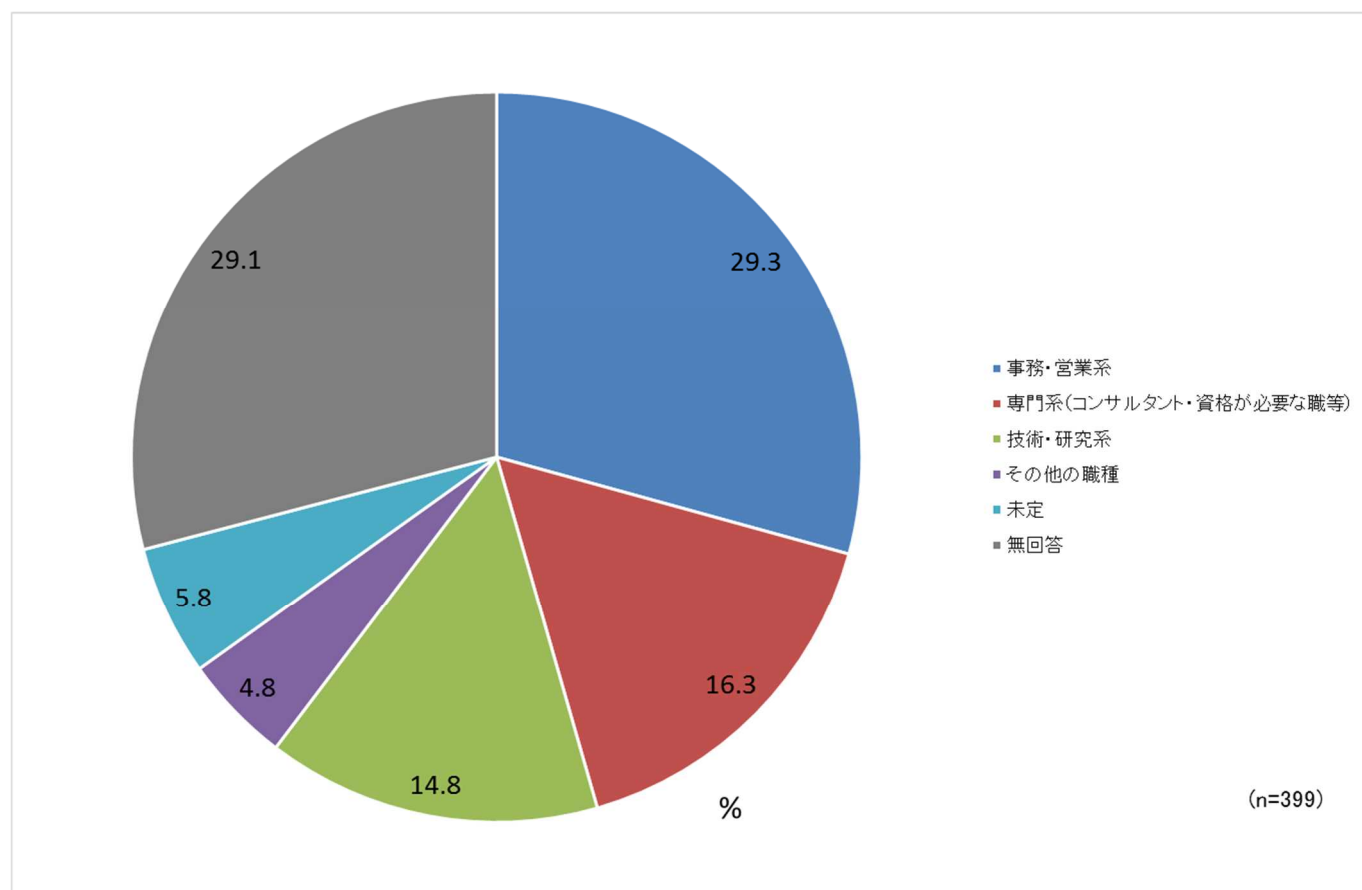
- ・「IT・通信」は20.6%
- ・「コンサルタント」は15.5%
- ・「金融」は14.5%
- ・「メーカー」は13.3%
- ・「マスコミ」は12.5%



就職した民間企業の業種について、「IT・通信」(20.6%)、「コンサルタント」(15.5%)、「金融」(14.5%)、「メーカー」(13.3%)、「マスコミ」(12.5%)となっている。

## VII-1''. 民間企業の職種

- ・「事務・営業系」は29.3%
- ・「専門系（コンサルタント・資格が必要な職等）」は16.3%
- ・「技術・研究系」は14.8%

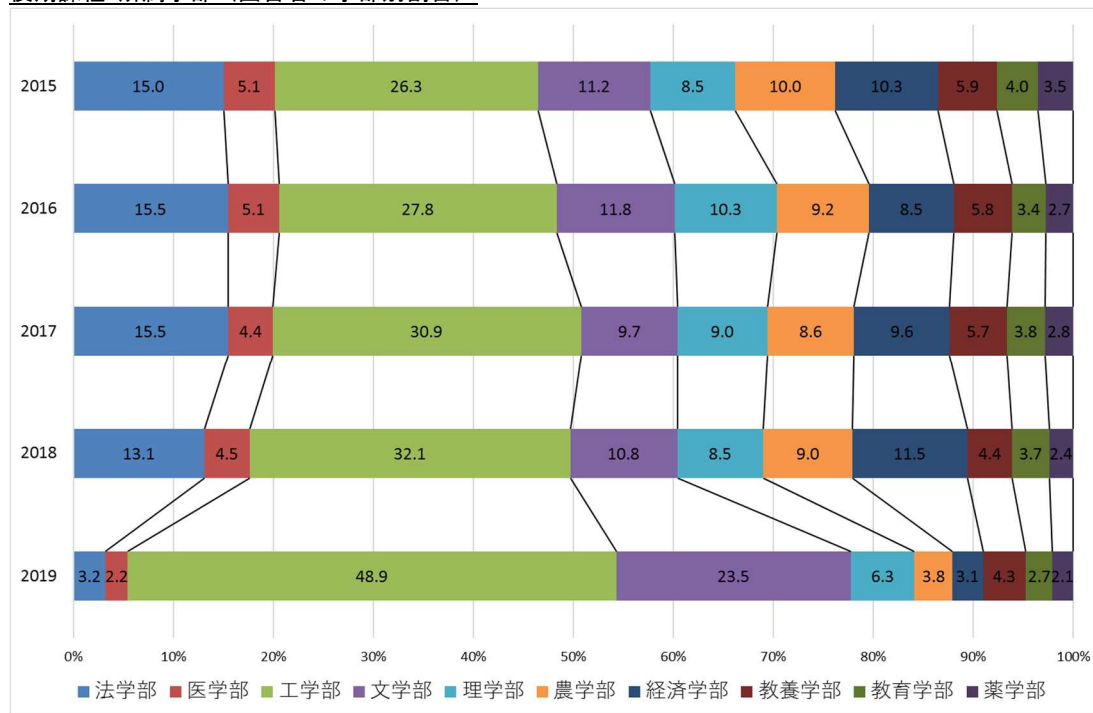


就職した民間企業の職種について、「事務・営業系」（29.3%）、「専門系（コンサルタント・資格が必要な職等）」（16.3%）、「技術・研究系」（14.8%）となっている。

## (参考) 経年変化

2008年度(2009年3月実施)から12回目となる今回までの調査結果に増加あるいは減少傾向がみられる項目について経年データを示す。

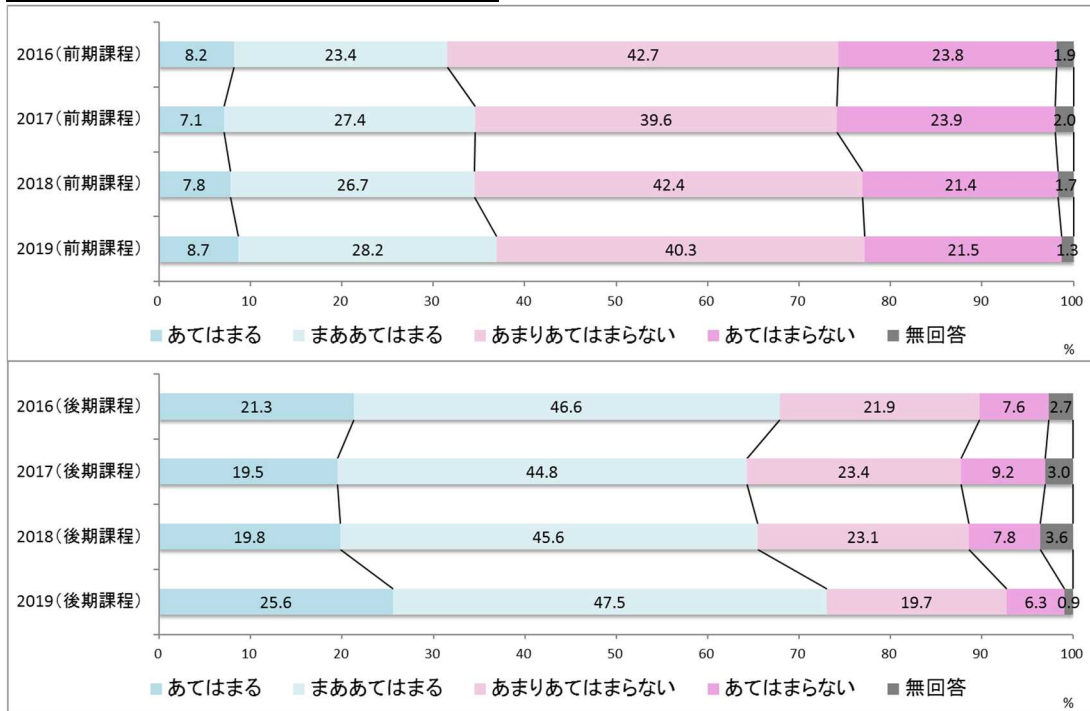
後期課程 所属学部 (回答者の学部別割合)



回答者の学部別割合である。工学部と文学部の増加が大きいため、全体の傾向としてみるためには留意が必要である。

II-2. 大学時代を通じての経験を総合して、つぎのようなことはどの程度あてはまりますか。前期課程と後期課程について、それぞれお答えください。

A. アカデミックな雰囲気の中に自分を置いた

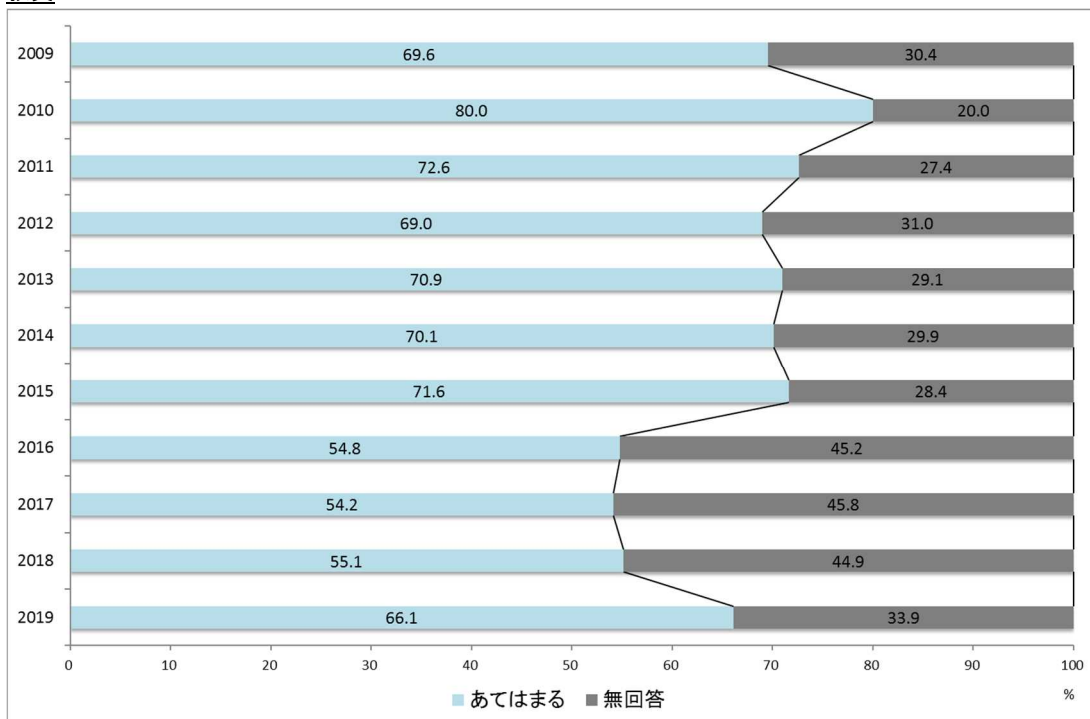


後期課程について、2019年度は「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が、前年度より7.7%増加した。

2016年度より前期課程と後期課程を分けて調査。

II-5. あなたは授業外で、本学のつぎのような人とアカデミックな交流がありましたか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

教員

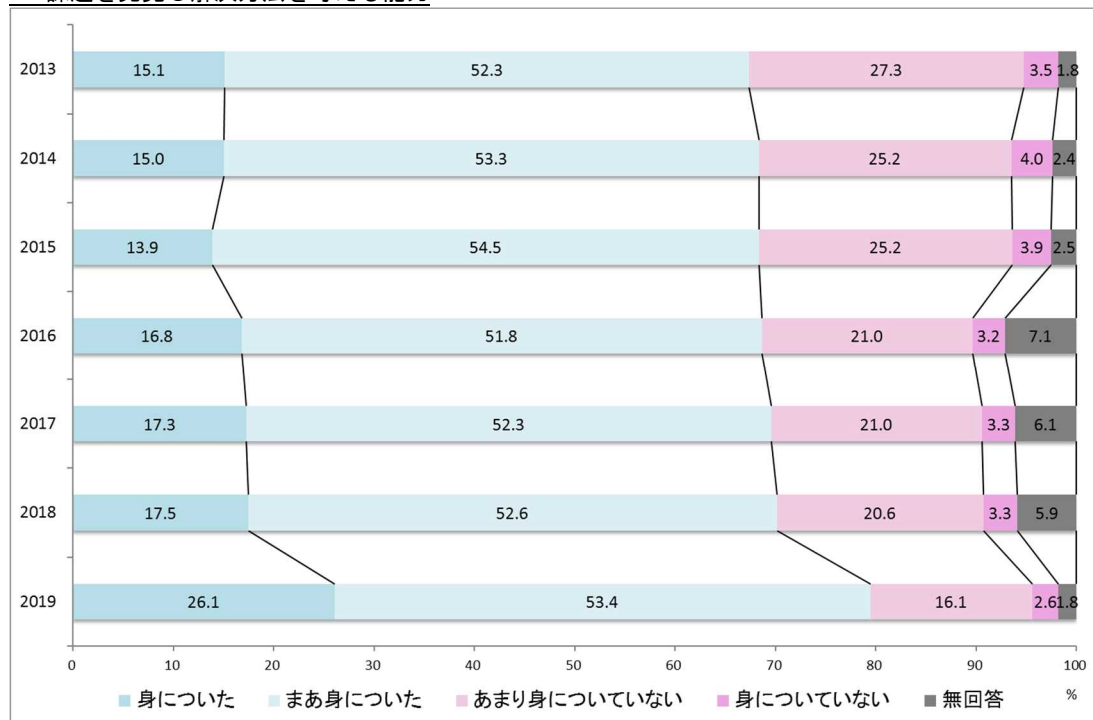


「あてはまる」が前年度より11.0%増加した。

2016年度より「学問的な交流」から「アカデミックな交流」に変更した。

IV-1. あなたは、つぎのような点を身につけたと思いますか。

D. 課題を発見し解決方法を考える能力

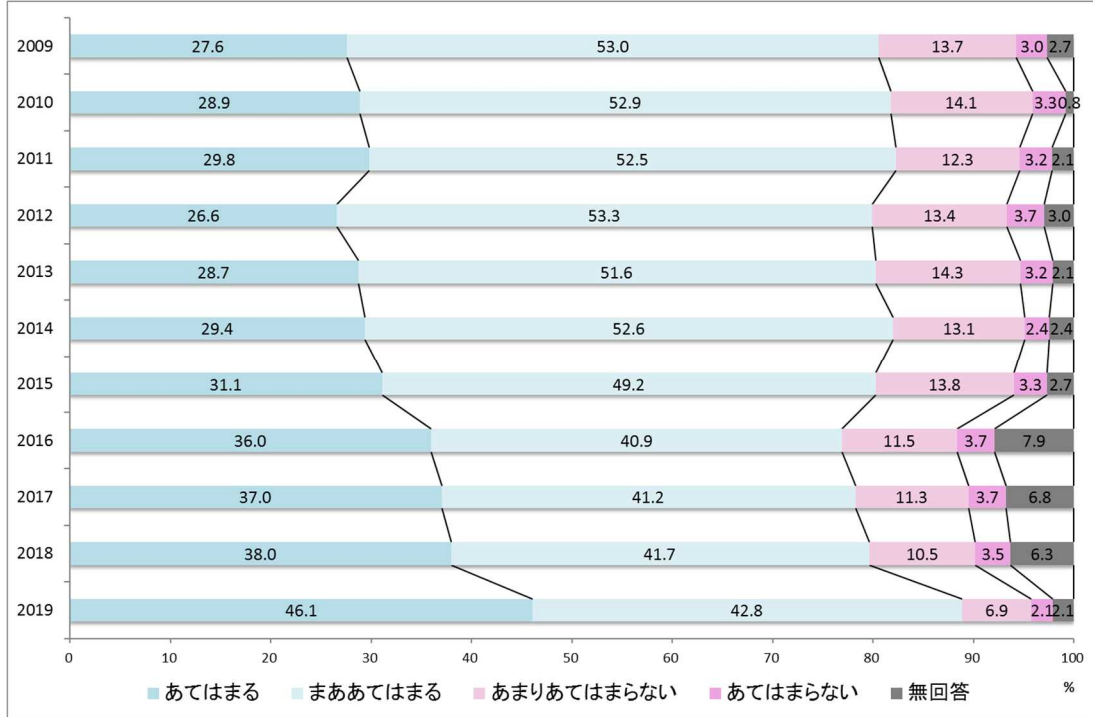


「身についた」と「まあ身についた」の合計が、前年度より9.4%増加した。

2019年度より「課題を発見する能力」から「課題を発見し解決方法を考える能力」に微修正した。

IV-2. 教員や教育制度との関係、受講した授業について伺います。

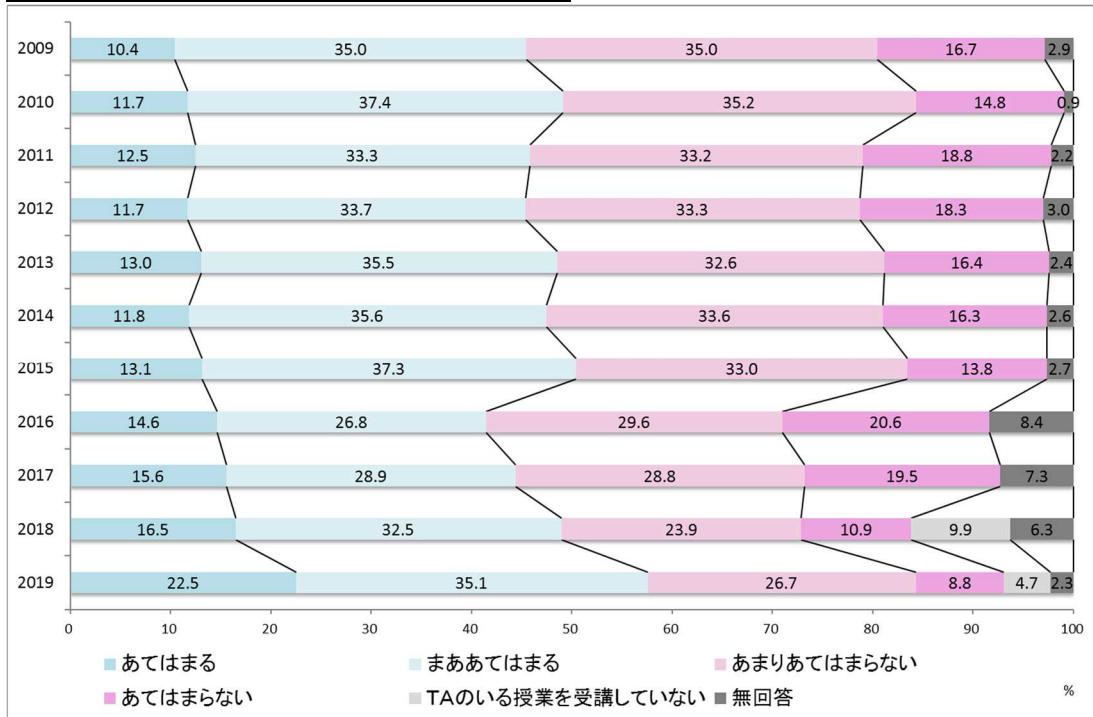
A. 所属学科・コースの教員の指導は十分だった



「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が、前年度より9.2%増加した。

IV-2. 教員や教育制度との関係、受講した授業について伺います。

E. TA (ティーチング・アシスタント) が役に立った



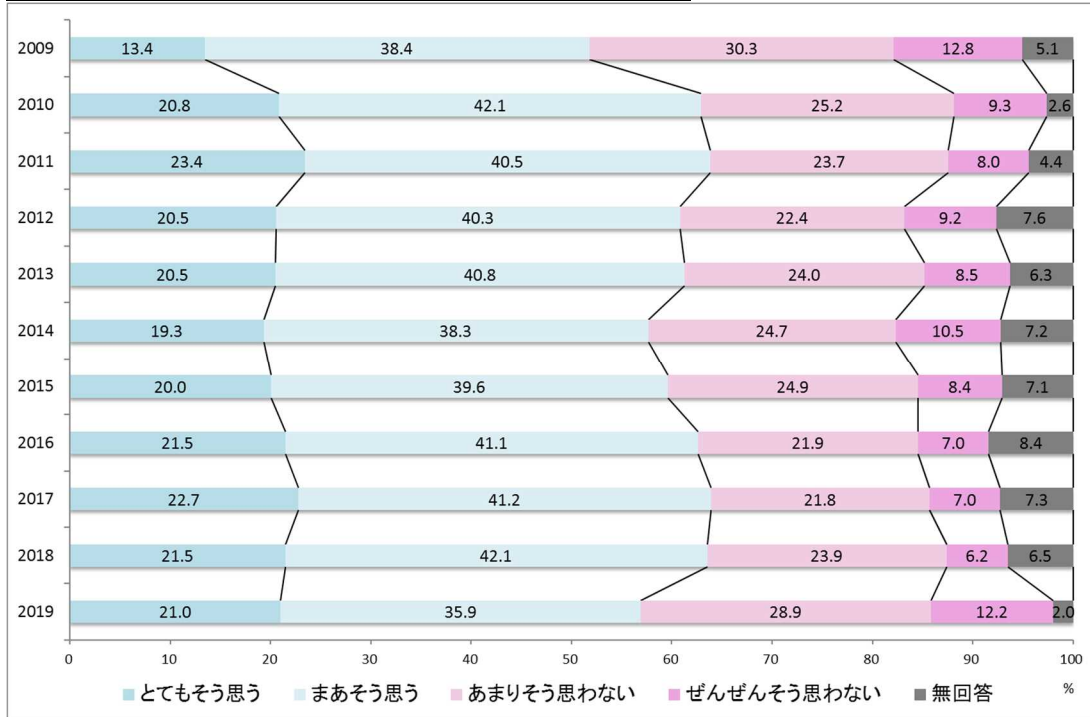
「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が、前年度より8.6%増加した。

2016年度より「TA (ティーチング・アシスタント) が機能していた」から「TA (ティーチング・アシスタント) が役に立った」に微修正した。

2018年度より選択肢「TAのいる授業を受講していない」を追加した。

V-2. 専門と教養の学修の仕方についていくつかの考え方があります。つぎの項目について、あなたはどのように考えていますか。

C. 後期課程でも引き続き語学や教養を学んでいくやり方がよい

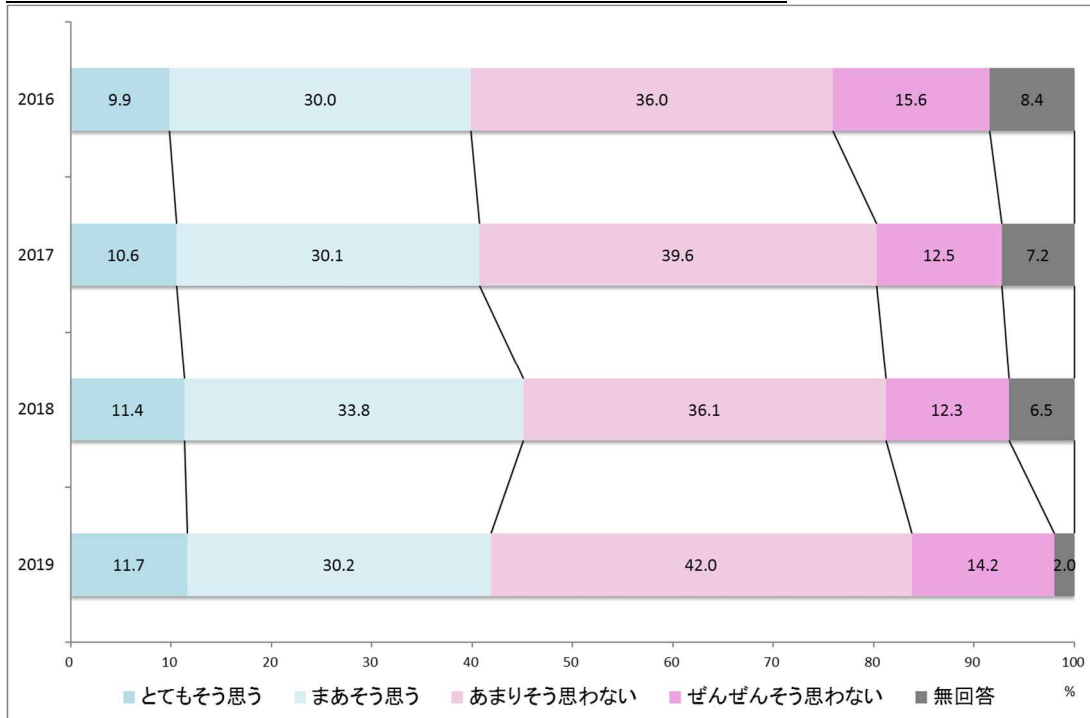


「あまりそう思わない」と「ぜんぜんそう思わない」の合計が、前年度より11.0%増加した。

2016年度より「前期課程で専門の基礎も固めて、後期課程でもひきつづき語学や教養を学んでいくやり方がよい」から「後期課程でも引き続き語学や教養を学んでいくやり方がよい」に微修正した。

V-2. 専門と教養の学修の仕方についていくつかの考え方があります。つぎの項目について、あなたはどのように考えていますか。

D. 学部段階でいろいろ広く学んで、大学院で専門を深めるやり方がよい

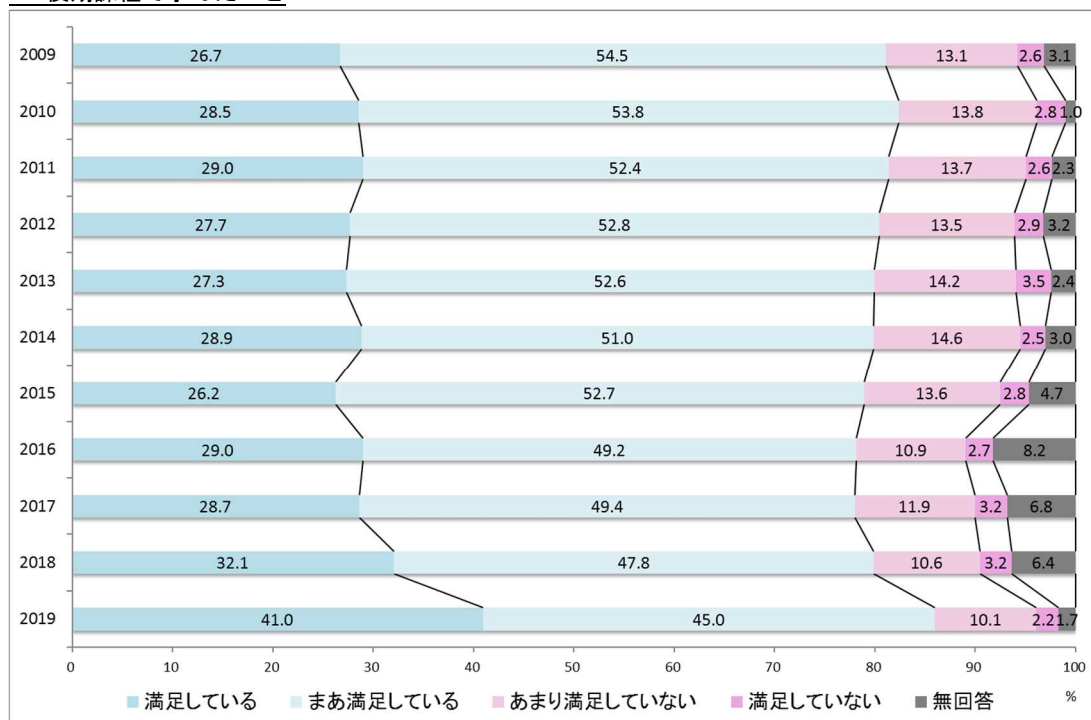


「あまりそう思わない」と「ぜんぜんそう思わない」の合計が、前年度より7.8%増加した。



VI-1. あなたの大学生生活を通じた満足度について伺います。

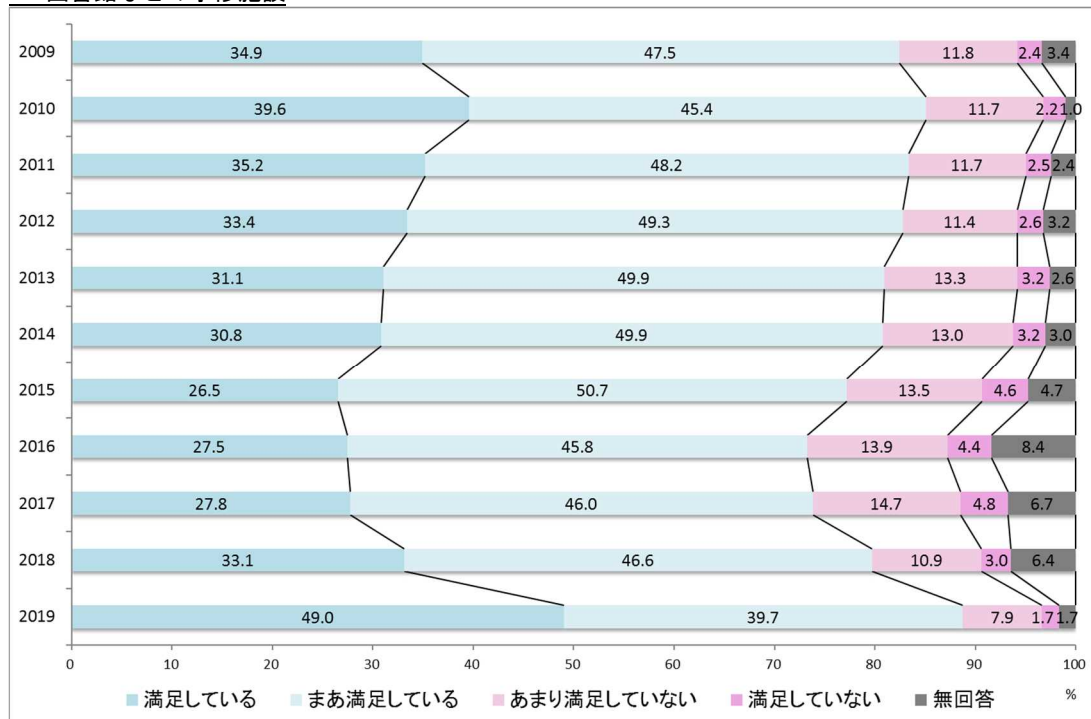
C. 後期課程で学んだこと



「満足している」が前年度より8.9%増加した。

VI-1. あなたの大学生生活を通じた満足度について伺います。

E. 図書館などの学修施設

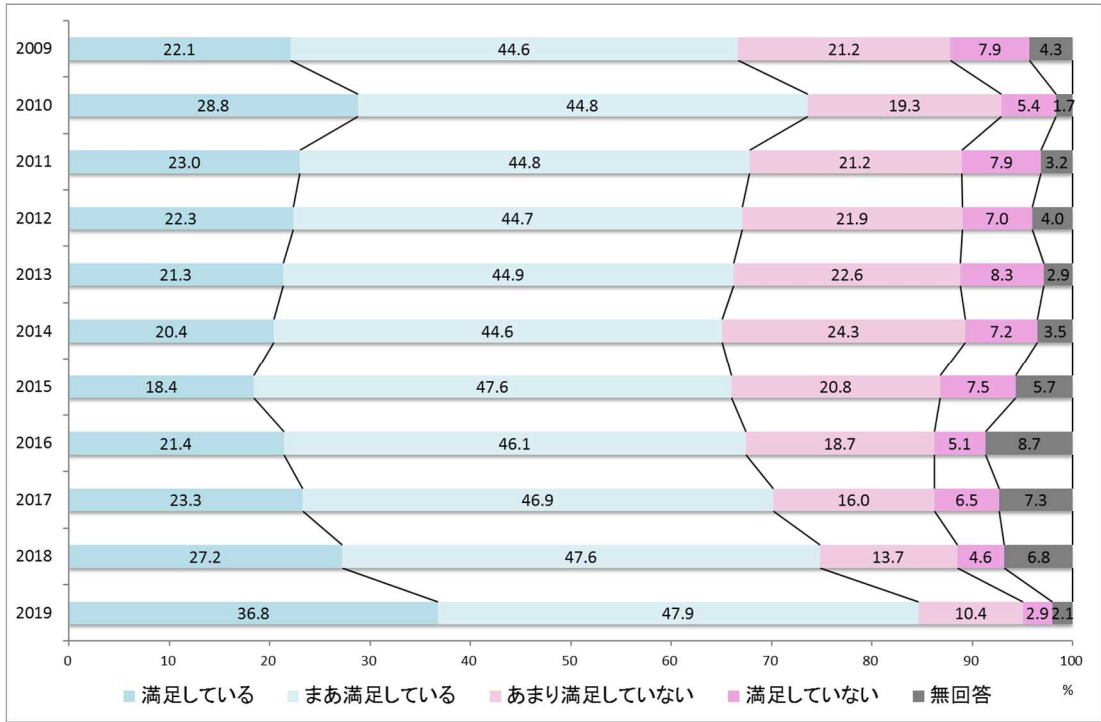


「満足している」と「まあ満足している」の合計が、前年度より9.0%増加した。

2019年度より「図書館などの学習施設」から「図書館などの学修施設」に微修正した。

VI-1. あなたの大学生生活を通じた満足度について伺います。

F. 実験・実習などのための施設や設備

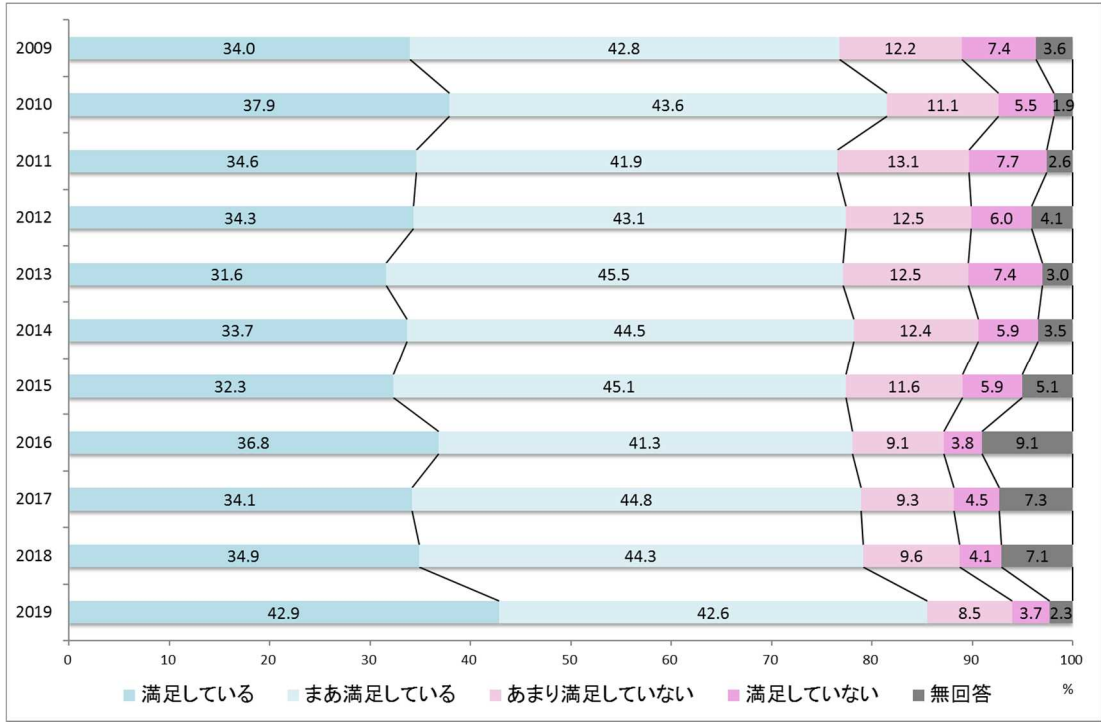


「満足している」と「まあ満足している」の合計が、前年度より9.9%増加した。

2016年度より「実験・実習などのための施設」から「実験・実習などのための施設や設備」に微修正した。

VI-1. あなたの大学生生活を通じた満足度について伺います。

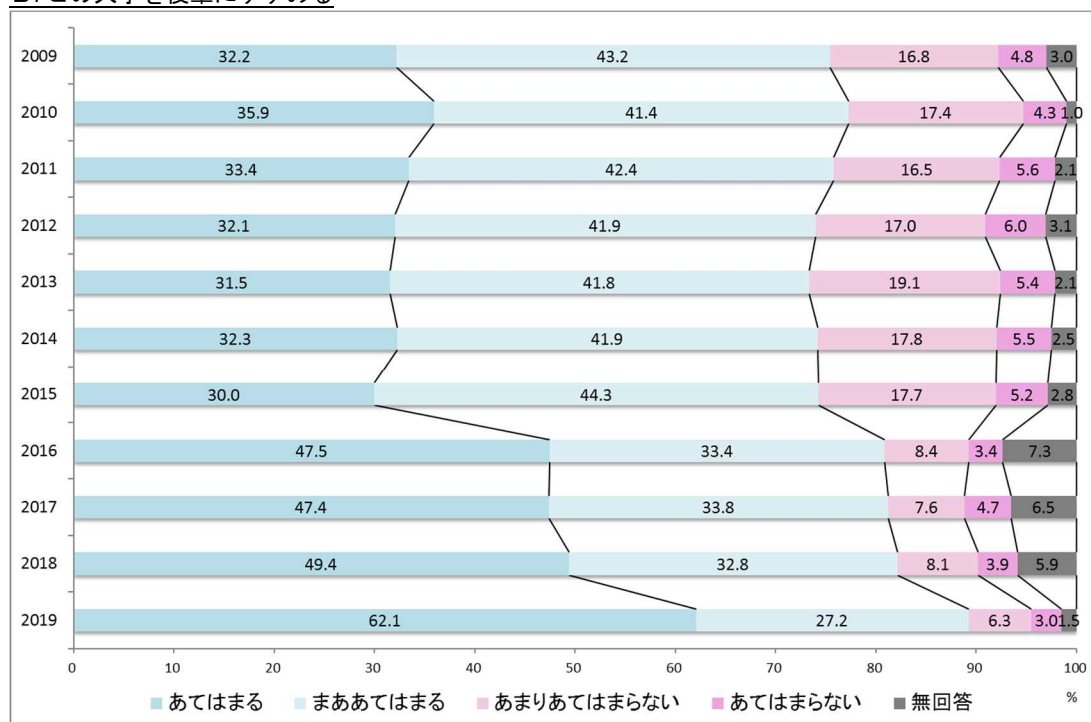
H. 卒業後の進路



「満足している」が前年度より8.0%増加した。

VI-2. 大学時代を通じての経験を総合して、つぎのようなことはどの程度あてはまりますか。

B. この大学を後輩にすすめる

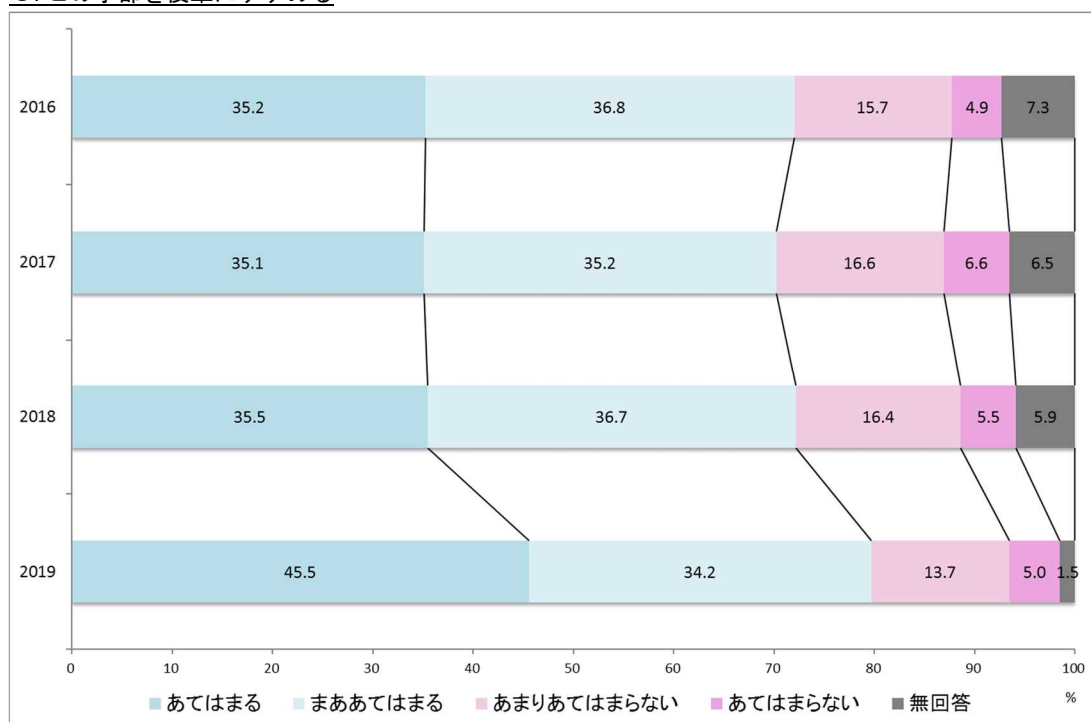


「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が、前年度より7.1%増加した。

2016年度より「この大学、学部、学科を後輩にすすめる」から「この大学を後輩にすすめる」に微修正した。

VI-2. 大学時代を通じての経験を総合して、つぎのようなことはどの程度あてはまりますか。

C. この学部を後輩にすすめる



「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が、前年度より7.5%増加した。

2016年度より「この大学、学部、学科を後輩にすすめる」から「この学部を後輩にすすめる」に微修正した。

# 大学教育の達成度調査(2008年度-2019年度) 回収率 2020年10月1日現在

	2008年度			2009年度			2010年度			2011年度			2012年度		
	卒業者数	回収枚数	回収率	卒業者数	回収枚数	回収率	卒業者数	回収枚数	回収率	卒業者数	回収枚数	回収率	卒業者数	回収枚数	回収率
法学部	408	152	37.3%	398	156	39.2%	398	32	8.0%	425	407	95.8%	407	395	97.1%
医学部	133	23	17.3%	129	19	14.7%	109	20	18.3%	121	18	14.9%	124	112	90.3%
工学部	895	93	10.4%	897	437	48.7%	943	681	72.2%	978	631	64.5%	950	630	66.3%
文学部	336	42	12.5%	291	263	90.4%	370	265	71.6%	352	272	77.3%	360	303	84.2%
理学部	305	225	73.8%	277	202	72.9%	293	228	77.8%	318	240	75.5%	282	239	84.8%
農学部	279	258	92.5%	272	247	90.8%	267	245	91.8%	279	257	92.1%	266	233	87.6%
経済学部	337	275	81.6%	354	330	93.2%	358	349	97.5%	333	304	91.3%	329	287	87.2%
教養学部 (後期課程)	165	35	21.2%	141	25	17.7%	184	21	11.4%	154	144	93.5%	186	148	79.6%
教育学部	96	40	41.7%	102	29	28.4%	101	20	19.8%	110	105	95.5%	99	96	97.0%
薬学部	90	84	93.3%	78	73	93.6%	78	75	96.2%	91	90	98.9%	86	81	94.2%
合計	3,044	1,227	40.3%	2,939	1,781	60.6%	3,101	1,936	62.4%	3,161	2,468	78.1%	3,089	2,524	81.7%

	2013年度			2014年度			2015年度			2016年度			2017年度		
	卒業者数	回収枚数	回収率	卒業者数	回収枚数	回収率	卒業者数	回収枚数	回収率	卒業者数	回収枚数	回収率	卒業者数	回収枚数	回収率
法学部	409	387	94.6%	390	389	99.7%	376	365	97.1%	386	367	95.1%	396	382	96.5%
医学部	129	121	93.8%	126	113	89.7%	131	124	94.7%	136	121	89.0%	119	109	91.6%
工学部	966	669	69.3%	956	610	63.8%	940	639	68.0%	973	658	67.6%	981	760	77.5%
文学部	327	294	89.9%	372	318	85.5%	311	273	87.8%	338	279	82.5%	279	238	85.3%
理学部	280	203	72.5%	301	228	75.7%	292	206	70.5%	307	243	79.2%	301	221	73.4%
農学部	272	234	86.0%	272	241	88.6%	269	243	90.3%	254	219	86.2%	268	213	79.5%
経済学部	343	292	85.1%	357	284	79.6%	319	250	78.4%	345	201	58.3%	323	236	73.1%
教養学部 (後期課程)	166	158	95.2%	175	156	89.1%	171	143	83.6%	169	137	81.1%	192	141	73.4%
教育学部	108	99	91.7%	90	75	83.3%	99	98	99.0%	90	80	88.9%	101	94	93.1%
薬学部	84	80	95.2%	82	80	97.6%	89	86	96.6%	82	65	79.3%	78	69	88.5%
合計	3,084	2,537	82.3%	3,121	2,494	79.9%	2,997	2,427	81.0%	3,080	2,370	76.9%	3,038	2,463	81.1%

	2018年度			2019年度		
	卒業者数	回収枚数	回収率	卒業者数	回収枚数	回収率
法学部	360	345	95.8%	358	42	11.7%
医学部	132	119	90.2%	126	29	23.0%
工学部	982	844	85.9%	966	641	66.4%
文学部	317	283	89.3%	334	308	92.2%
理学部	267	225	84.3%	293	83	28.3%
農学部	278	236	84.9%	261	50	19.2%
経済学部	314	302	96.2%	335	40	11.9%
教養学部 (後期課程)	187	117	62.6%	183	56	30.6%
教育学部	99	98	99.0%	96	35	36.5%
薬学部	81	63	77.8%	78	27	34.6%
合計	3,017	2,632	87.2%	3,030	1,311	43.3%

※ 各年度の卒業生数は3月卒業生のみ

問い合わせ：教育・学生支援部学務課教育改革推進チーム

【付属資料 調査票】

※一部の学部では学籍番号に関する質問(I-11)を使用しなかった。

2020年3月

# 大学教育の達成度調査

東京大学 教育運営委員会  
学部・大学院教育部会 達成度調査WG

### 調査へのご協力のお願い

この調査は東京大学の教育・研究環境の向上を目的として、卒業される学生の皆さんに、東京大学の教育や学修環境、学修経験や大学生活についてお聞きするものです。

本アンケートは、本学で分析し、その結果を本学の自己評価および教育改善に利用し、本学webページ (<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/edu-data/graduatesurvey.html>) において公表します。答えにくい設問は、差し支えない範囲で回答してください。皆さんの回答が大学の貴重な資料となりますので、ご協力をお願いします。

### 個人情報の取扱い

本アンケートの実施・集計等に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた者（以下「受託者」という。）において行うことがあります。ついでに、受託者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、アンケートの回答の全部又は一部を提供します。その際には、個人情報の保護に関する法令及び本学関連規則等に基づいて必要な処置を行います。また、本アンケートの結果は、統計処理を行う資料としてのみ活用し、回答者の個人的な情報を公にすることは一切ありません。アンケートは学科・コースごとに定められた方式で回収し、回答データは、回答者の個人情報及びプライバシー保護に留意し、厳重に保管します。

## I. あなた自身について伺います。それぞれ、あてはまるもの一つに○をつけてください。

I-1 入学試験:	一般入試	特別選考 (I・II種・学部英語コース)	国費等留学	推薦入試	編入・再入学・学士入学 ↳ I-4へ									
I-2 前期課程 入学年度:	2016以降	2015	2014	2013	2012	2011以前								
I-3 前期課程 科類:	文一	文二	文三	理一	理二	理三								
I-4 後期課程 入・進学年度:	2018以降	2017	2016	2015	2014	2013以前								
I-5 後期課程 所属学部等:	法学部 文学部 経済学部 薬学部(薬科学)	医学部(医学) 理学部 教養学部(文系) 薬学部(薬学)	医学部(健康総合) 農学部(生命・環境) 教養学部(理系)	工学部 農学部(獣医) 教育学部										
I-6 所属学科・コース等:														
I-7 性別:	男	女	その他	回答しない										
I-8 通学・住居:	自宅通学	自宅外通学	東大学生宿舎	その他学生寮	その他									
I-9 出身高校等: 種別	国立高校	公立高校	私立高校	外国の学校	高等学校卒業程度認定試験(廃止前の大学入学資格認定) その他( )									
I-10 高校受験経験の有無	あり	なし												
I-11 後期課程 学籍番号:	<table border="1"> <tr> <td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td> </tr> </table>													※学籍番号の記入は強制ではありませんが、東京大学の教育・研究環境の向上に役立てるため他のデータとともに分析することがあります。あなたの回答が他に知られることがないよう、学籍番号は暗号化して分析しますのでご協力ください。

## II. 在学時の経験について伺います。それぞれ、あてはまるもの一つに○をつけてください。

II-1 入学時の様子について伺います。つぎのことは、どの程度あてはまりますか。

	あてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
A. 大学に入ってからやりたいことが明確に決まっていた	1	2	3	4
B. 大学の授業は、やりたいことに密接に関わっていると考えていた	1	2	3	4
C. 授業を通じてやりたいことを見つけたと考えていた	1	2	3	4
D. 入学前から、受験勉強の範囲を超えて、アカデミックな知識や思想について勉強していた	1	2	3	4

II-2 大学時代を通じての経験を総合して、つぎのようなことはどの程度あてはまりますか。前期課程と後期課程について、それぞれお答えください。

	前期課程				後期課程			
	あてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
A. アカデミックな雰囲気の中に自分を置いた	1	2	3	4	1	2	3	4
B. 自主勉強会など自分の興味ある学修をする機会を得られた	1	2	3	4	1	2	3	4
C. 一つのことに没頭して取り組んだことがある	1	2	3	4	1	2	3	4
D. 議論したり、ともに考えたりする友達を得られた	1	2	3	4	1	2	3	4
E. 優れた友人に感化された	1	2	3	4	1	2	3	4
F. 研究室やサークルなどのOB、OGと知り合いになれた	1	2	3	4	1	2	3	4
G. 自分の専門以外の本をよく読んだ	1	2	3	4	1	2	3	4
H. 専門書や学術雑誌をよく読んだ	1	2	3	4	1	2	3	4
I. 趣味やスポーツなどが充実した	1	2	3	4	1	2	3	4
J. 勉強したい専門がなかった	1	2	3	4	1	2	3	4
K. 前期課程では、後期課程の授業を理解するだけの能力や前提となる知識が身につかなかった	1	2	3	4	/			
L. 後期課程では授業についていくのに苦労した	/							
M. 就職活動に時間をさきすぎた					/			

II-3 大学が提供するプログラムの履修または参加について伺います。それぞれについて、「履修または参加した（「非常に有用だった」、「有用だった」、「有用ではなかった」）」、「知っているが履修または参加したことはない」、「知らない」に分けて、あてはまる番号に○をつけてください。

	履修または参加した			知っているが履修または参加したことはない	知らない
	非常に有用だった	有用だった	有用ではなかった		
A. 学部横断型教育プログラム	1	2	3	4	5
B. FLY プログラム	1	2	3	4	5
C. 国際研修	1	2	3	4	5
D. 前期トライリンガル・プログラム	1	2	3	4	5
E. 後期トライリンガル・プログラム	1	2	3	4	5
F. GLP-GEFIL	1	2	3	4	5
G. グローバルキャンパス推進本部(旧国際本部)短期プログラム	1	2	3	4	5
H. USTEP (全学交換留学)	1	2	3	4	5
I. スペシャル・イングリッシュ・レッスン	1	2	3	4	5
J. 体験活動プログラム(研究室体験)	1	2	3	4	5
K. 体験活動プログラム(国内)	1	2	3	4	5
L. 体験活動プログラム(海外)	1	2	3	4	5
M. フィールドスタディ型政策協働プログラム	1	2	3	4	5
N. UGIP 世界一周型、UGIP 地域滞在型	1	2	3	4	5
O. その他(名称 )	1	2	3	4	/

II-4 在学時の学修機会・経験について伺います。

	はい			いいえ
	非常に 有用だった	有用だった	有用 ではなかった	
A. 卒業論文/ 研究を行った	1	2	3	4
B. 研究室やゼミでの少人数教育を経験した	1	2	3	4
C. 学内の留学生とのつきあいがあった	1	2	3	4
D. 東大で語学以外の英語による授業を受講した	1	2	3	4
E. それ以外の国際交流活動を行った(外国人留学生等の支援等も含む)	1	2	3	4
F. インターンシップ・プログラム(5日以上のもの)に参加した	1	2	3	4
G. 英会話などの語学の学校に通った	1	2	3	4
H. 資格取得のためにダブルスクールに通っていた	1	2	3	4
I. 震災や台風等の復興復旧ボランティア(学習支援等も含む)に参加した	1	2	3	4
J. 上記以外の一般ボランティアに参加した	1	2	3	4
K. サークルなどで社会貢献活動を行った	1	2	3	4
L. 海外に留学した(3か月以上)	1	2	3	4

II-5 あなたは授業外で、本学のつぎのような人とアカデミックな交流がありましたか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

1. 教員	2. 先輩	3. 同輩	4. 後輩	5. 留学生	6. 留学生以外の外国人
-------	-------	-------	-------	--------	--------------

II-6 典型的な1週間(土、日を含む)の平均的な生活時間を、学期中について伺います。それぞれの活動に何時間あててきたか、およその時間数に該当する数字を1つ選んで、それぞれの欄に記入してください。

		1週間(7日)あたり	0 時間	1-5 時間	6-10 時間	11-15 時間	16-20 時間	21-25 時間	26-30 時間	31時間 以上
学期中	A. 授業・実験への出席 (卒業研究・卒業実験・卒論を除く)	後期課程(最終年次以外)	1	2	3	4	5	6	7	8
		後期課程(最終年次)	1	2	3	4	5	6	7	8
	B. 授業・実験の課題、準備・復習	後期課程(最終年次以外)	1	2	3	4	5	6	7	8
		後期課程(最終年次)	1	2	3	4	5	6	7	8
	C. 卒業研究・卒業実験・卒論	後期課程(最終年次以外)	1	2	3	4	5	6	7	8
		後期課程(最終年次)	1	2	3	4	5	6	7	8
	D. 授業とは関係のない勉強	後期課程(最終年次以外)	1	2	3	4	5	6	7	8
		後期課程(最終年次)	1	2	3	4	5	6	7	8
	E. 部活動・サークル・クラブ活動	後期課程(最終年次以外)	1	2	3	4	5	6	7	8
		後期課程(最終年次)	1	2	3	4	5	6	7	8
	F. アルバイト・仕事	後期課程(最終年次以外)	1	2	3	4	5	6	7	8
		後期課程(最終年次)	1	2	3	4	5	6	7	8
	G. ボランティア活動	後期課程(最終年次以外)	1	2	3	4	5	6	7	8
		後期課程(最終年次)	1	2	3	4	5	6	7	8
	H. 就職活動	後期課程(最終年次以外)	1	2	3	4	5	6	7	8
		後期課程(最終年次)	1	2	3	4	5	6	7	8
	I. 趣味・娯楽・交友	後期課程(最終年次以外)	1	2	3	4	5	6	7	8
		後期課程(最終年次)	1	2	3	4	5	6	7	8

II-7 典型的な1日(24時間)で、PC、タブレット、スマートフォンなど、すべて合わせてインターネット(ウェブ検索、SNSなど)を利用した時間はどのくらいですか。

	0 時間	1-3 時間	4-6 時間	7-9 時間	10-12 時間	13-15 時間	16-18 時間	19-21 時間	22-24 時間
A. 学期中の利用時間 (学業目的での利用)	1	2	3	4	5	6	7	8	9
B. 学期中の利用時間 (コミュニケーション目的での利用)	1	2	3	4	5	6	7	8	9
C. 学期中の利用時間 (上記A,B以外の目的での利用)	1	2	3	4	5	6	7	8	9



II-8-① 他学部聴講等について伺います。

	はい	いいえ
A. 他学部の科目の聴講をしたことがある	1	2
B. 他学科の科目の聴講をしたことがある	1	2
C. 後期教養科目の聴講をしたことがある	1	2

II-8-② 上記II-8-① A、B、Cのどれかで「はい」と答えた方に伺います。どういう意図で聴講しましたか。  
あてはまるもの全てに○をつけてください。

- |   |
|---|
| 1. 別の専門の科目を聴講して視野を広げるために<br>2. 他学部・他学科で開講される自分の専門の関連領域を聴講するため<br>3. 単位を修得するため<br>4. 教職に必要な科目を履修するため |
|---|

II-8-③ 上記II-8-① A、B、Cのいずれも「いいえ」と答えた方に伺います。なぜ聴講しませんでしたか。  
あてはまるもの全てに○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 必要がなかったため<br>2. 他学部・他学科の科目に興味・関心がなかったため<br>3. 興味・関心はあったが、時間割が合わなかったため<br>4. 忙しくて余裕がなかったため<br>5. その他(具体的に： ) |
|--|

II-9 あなたの成績について伺います。「優」(A)は何割くらいありましたか。  
数値を( )に記入してください。「優上」を含めた割合をお答えください。

優(A)の割合 ( ) 割
---------------

III. 在学時の海外経験等について伺います。それぞれ、あてはまるもの一つに○をつけてください。

III-1-① 在学時の海外経験等について、それぞれあてはまる番号に○をつけてください。また、A～Hで1～4を選択した場合はIII-1-②にお答えください。複数の年度で複数回経験している場合には、それぞれの時期に○をつけてください。

	1カ月未満	1-6カ月未満	6カ月-1年未満	1年以上	経験なし	⇒III-1-② 経験時の時期		
						前期課程(1～2年生)	前期から後期に跨り(2～3年生)	後期課程(3年生～)
A. 大学のプログラム／推薦により留学した	1	2	3	4	5	前期課程(1～2年生)	前期から後期に跨り(2～3年生)	後期課程(3年生～)
B. 個人留学した(語学学習)	1	2	3	4	5	前期課程(1～2年生)	前期から後期に跨り(2～3年生)	後期課程(3年生～)
C. 個人留学した(語学学習以外)	1	2	3	4	5	前期課程(1～2年生)	前期から後期に跨り(2～3年生)	後期課程(3年生～)
D. 海外でインターンシップ(5日以上のもの)に参加した	1	2	3	4	5	前期課程(1～2年生)	前期から後期に跨り(2～3年生)	後期課程(3年生～)
E. 海外でボランティアに参加した	1	2	3	4	5	前期課程(1～2年生)	前期から後期に跨り(2～3年生)	後期課程(3年生～)
F. 大学や学生団体等が主催する海外の学生との交流イベントに参加した	1	2	3	4	5	前期課程(1～2年生)	前期から後期に跨り(2～3年生)	後期課程(3年生～)
G. 海外での研究・調査等や国際会議等に参加した	1	2	3	4	5	前期課程(1～2年生)	前期から後期に跨り(2～3年生)	後期課程(3年生～)
H. 上記以外に海外に行った経験がある	1	2	3	4	5	前期課程(1～2年生)	前期から後期に跨り(2～3年生)	後期課程(3年生～)

Ⅲ-1-③ 在学中に留学しなかった方(上記Ⅲ-1のAからCの経験がない方)に伺います。

	あてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
A. 積極的に留学をしたいと考えたことがある	1	2	3	4
B. 語学力の問題で留学をあきらめた	1	2	3	4
C. 経済的な問題で留学をあきらめた	1	2	3	4
D. 留年しなければならなかったので留学をあきらめた	1	2	3	4
E. 大学の年間スケジュールのため、留学をあきらめた	1	2	3	4
F. 大学院入試のため、留学をあきらめた	1	2	3	4
G. 就職活動のため、留学をあきらめた	1	2	3	4
H. 部活動・サークル活動のため、留学をあきらめた	1	2	3	4

Ⅲ-2 あなたは、在学中にTOEFL iBTやTOEIC、IELTS等の公式テストを受験したことがありますか。また、点数はどのくらいでしたか。

A. TOEFL iBT	1. 受験経験なし	2. 受験経験あり (以下から点数を選んでください) 0～41点   42～57点   58～71点   72～83点   84～94点   95～106点   107点～
B. TOEIC Listening & Reading	1. 受験経験なし	2. 受験経験あり (以下から点数を選んでください) 0～224点   225～545点   550～665点   670～780点   785～865点   870～940点   945点～
C. TOEIC Speaking & Writing	1. 受験経験なし	2. 受験経験あり (以下から点数を選んでください) 0～159点   160～239点   240～270点   275～305点   310～330点   335～355点   360点～
D. IELTS	1. 受験経験なし	2. 受験経験あり (以下から点数を選んでください) 0～3.5点   4.0～5.0点   5.5～6.5点   7.0～8.0点   8.5点～
E. その他の公式テスト(外国語)	1. 受験経験なし	2. 受験経験あり (名称 ) ( )点満点で( )点くらい

Ⅳ. 在学時の学修について伺います。それぞれ、あてはまるもの一つに○をつけてください。

Ⅳ-1 あなたは、つぎのような点を身につけたと思いますか。

	身についた	まあ身についた	あまり身につけていない	身につけていない
A. 学科・課程の専門領域について、最先端の研究を含めた知識・考え方	1	2	3	4
B. 専門の枠を超えた、所属する学部に通ずるような基本的な知識・考え方	1	2	3	4
C. 専門領域を超えた、幅広い知識やものの見方	1	2	3	4
D. 課題を発見し解決方法を考える能力	1	2	3	4
E. 広い視野からの判断力	1	2	3	4
F. 公共的な責任感や倫理観	1	2	3	4
G. 異なる文化や価値観の理解・尊重	1	2	3	4
H. 今まで経験したことのないことに挑戦する意欲	1	2	3	4
I. グローバルな思考と行動力	1	2	3	4
J. 自分なりに学問を俯瞰すること	1	2	3	4
K. 将来の方向性	1	2	3	4
L. 社会に出てすぐに役に立つような知識やスキル	1	2	3	4
M. 問題を設定して、体系的に分析する能力	1	2	3	4
N. 論理的な文章をまとめる能力	1	2	3	4
O. 自分の考えを人に伝える能力	1	2	3	4
P. 人間関係をうまく保ち協働する能力	1	2	3	4
Q. 外国語の論文や本を読む能力	1	2	3	4
R. 外国語でコミュニケーションする能力	1	2	3	4
S. 外国のことを日本と比較して理解する能力	1	2	3	4
T. 自ら企画を立て、実現させていく能力	1	2	3	4
U. ITを利用する能力	1	2	3	4
V. 自分なりのものの考え方	1	2	3	4
W. 文献・資料・データを収集・分析する力	1	2	3	4
X. 統計数理の知識・技能	1	2	3	4

IV-2 教員や教育制度との関係、受講した授業について伺います。

	あてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
A. 所属学科・コースの教員の指導は十分だった	1	2	3	4	
B. 優れた教員に影響を受けた	1	2	3	4	
C. 授業内容の意義や必要性を十分に説明してくれた	1	2	3	4	
D. 理解がしやすいように教え方が工夫されていた	1	2	3	4	
E. TA(ティーチング・アシスタント)が役に立った	1	2	3	4	5 TAのいる授業を受講していない
F. 小テストやレポートなどの課題が出された	1	2	3	4	
G. 適切なコメントが付されて課題などの提出物が返却された	1	2	3	4	
H. グループワークやディスカッションの機会があった	1	2	3	4	
I. 教員から意見を求められたり、質疑応答の機会があった	1	2	3	4	

IV-3 受講した授業の形態について伺います。これまでの大学生活を振り返って、全体が10割になるように整数でお答えください。

大講義 (出席者数が100名以上)	中講義 (出席者数が50~100名程度)	小講義 (出席者数が50名未満)	演習・ゼミ	実験・実習
割	割	割	割	割

V. 前期と後期の接続について伺います。それぞれ、あてはまるもの一つに○をつけてください。

V-1 進学選択(進学振分け)や進学先について伺います。

		あてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
進学選択 (進学振分け) について	A. 進学先を希望通りに決めることができた	1	2	3	4
	B. 途中で興味が変わって進学希望を考え直した	1	2	3	4
	C. 現在の進学選択(進振り)制度は複雑すぎる	1	2	3	4
進学先 について	D. 進学先は進学前にイメージしていた通りだった	1	2	3	4
	E. 進学先の選択について、点数より専門分野を重視した	1	2	3	4
	F. 前期課程の科目選択の際に点数より希望の専門分野を重視した	1	2	3	4

V-2 専門と教養の学修の仕方についていくつかの考え方があります。つぎの項目について、あなたはどのように考えていますか。

	とても そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない
A. 前期課程でいろいろ広く学んで、 後期課程で専門を深めるやり方がよい	1	2	3	4
B. 入学時点から専門を決めて、 それを4年間で学んでいくやり方がよい	1	2	3	4
C. 後期課程でも引き続き語学や教養を 学んでいくやり方がよい	1	2	3	4
D. 学部段階でいろいろ広く学んで、 大学院で専門を深めるやり方がよい	1	2	3	4

**VI. 大学生生活を通じた満足度について伺います。それぞれ、あてはまるもの一つに○をつけてください。**

VI-1 あなたの大学生生活を通じた満足度について伺います。

	満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	あてはまらない(未経験)
A. 大学生生活全般	1	2	3	4	
B. 前期課程で学んだこと	1	2	3	4	
C. 後期課程で学んだこと	1	2	3	4	
D. 授業以外で教員に質問したり、勉強の仕方を相談する機会	1	2	3	4	
E. 図書館などの学修施設	1	2	3	4	
F. 実験・実習などのための施設や設備	1	2	3	4	
G. 就職指導	1	2	3	4	5
H. 卒業後の進路	1	2	3	4	
I. 学修・生活面でのカウンセリング	1	2	3	4	5
J. サークル・クラブ活動	1	2	3	4	5
K. 国際経験	1	2	3	4	5
L. 上記以外での大学での経験	1	2	3	4	

VI-2 大学時代を通じての経験を総合して、つぎのようなことはどの程度あてはまりますか。

	あてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
A. 入学時点に戻るとしたら、いまの専門を選ぶ	1	2	3	4
B. この大学を後輩にすすめる	1	2	3	4
C. この学部を後輩にすすめる	1	2	3	4
D. 効率的に知識を身につけることができた	1	2	3	4
E. 国立大において税金で教育を受けたという意識がある	1	2	3	4

VI-3 大学のカリキュラムについて伺います。

	あてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
A. 専門分野を体系的に学ぶことができた	1	2	3	4
B. 専門領域の全体像が把握できた	1	2	3	4
C. 自由すぎて、なにをどう勉強すればよいかわからなかった	1	2	3	4
D. 必修科目が多く、自分のやりたいことができなかった	1	2	3	4
E. 後期課程の語学教育は今のままでは不十分だ	1	2	3	4

**VII. 卒業後の進路について伺います。それぞれ、あてはまるもの一つに○をつけてください。**

VII-1 卒業後の予定は、下の項目ではどれにあたりますか。

<b>働く</b>	1. 民間企業に就職 ※左記から業種と職種を 1つずつ選択して下さい	<b>業種</b> : A. メーカー …… (農林・食品・医薬品・建設・機械・電機・素材など) B. 商社 …… (総合・専門) C. 流通・小売 …… (百貨店・スーパー・コンビニ・専門店など) D. 金融 …… (銀行・証券・保険・クレジットなど) E. インフラ …… (不動産・運輸・電力・ガス・エネルギーなど) F. サービス …… (レストラン・ホテル・医療・福祉・教育など) G. コンサルタント (コンサルタント・シンクタンク・調査など) H. IT・通信 …… (ソフトウェア・情報処理・ゲームソフト・通信など) I. マスコミ …… (放送・新聞・出版・広告・芸能など) J. その他の業種
		<b>職種</b> : a. 事務・営業系 b. 技術・研究系 c. 専門系(コンサルタント・資格が必要な職等) d. その他の職種 (具体的に : _____ ) e. 未定
		2. 教育研究機関に就職 (教職を含む)
		3. 公務員として就職
		4. 司法修習生、臨床研修医
		5. 起業・自営業
	6. その他の就職 (具体的に : _____ )	
<b>学ぶ</b>		7. 東大の大学院に入学 (研究科名 : _____ )
		8. 国内の他大学の大学院に入学
		9. 海外の大学院に入学
	10. 国内の大学に学士入学	
	11. 海外の大学に入学	
	12. その他の進学 (具体的に : _____ )	
<b>その他</b>		13. その他の進路 (具体的に : _____ )
<b>未定</b>		14. まだ決まっていない

**VIII. 自由記述**

VIII-1 東京大学の学修環境、カリキュラム、あなたの学修経験・大学生活等について、満足だった点、不満だった点を具体的にお書きください。

VIII-2 東京大学の教育や学修環境の向上のために何が必要だと思いますか。意見を自由にお書きください。

これで終わりです。ご協力ありがとうございました。